



2024年度

向陽ヶ丘病院年報



北海道立向陽ヶ丘病院

はじめに

令和7年、世界は引き続き多くの困難を抱えています。ウクライナや中東地域における紛争、グローバル経済の不安定化、そして円安や物価上昇の影響は、医療現場にも着実に及び、医療資材やエネルギーコストの高騰、人材確保の難しさなどが、地域医療を取り巻く環境を一層厳しくしています。

こうした社会情勢のなか、当院は「こころの和と輪を大切にした医療の実践」という理念のもと、地域の皆さまにとって安心のよりどころとなるよう、日々努力を重ねてまいりました。道立精神科病院としての責務を自覚し、単に治療を行うだけでなく、患者一人ひとりの生活と人生に寄り添う医療を目指しています。

オホーツク地域では、高齢化と人口減少が進行する一方で、精神的な不安を抱える方や社会的孤立の問題が複雑化しています。ひきこもり、8050問題、依存症、若年層の自殺念慮など、多様化する課題に対しては、医療・福祉・行政の連携が不可欠です。

このような状況に対応するため、当院では日頃から、地域連携、地域移行支援、訪問看護、外来から入院・退院後支援までをつなぐ切れ目のない体制の構築に取り組んできました。また、令和6年度からは、医療機器を搭載した車で自宅を訪問し、病院の医師がオンラインで診療を行う「医療 MaaS（マース）」の試験的導入も進めており、将来的には、医療アクセスに不安を抱える高齢者や独居の方々へのサポートが可能となり、受診中断の防止や早期介入に寄与していくことを目指しています。

さらに、当院が道から指定を受けている認知症疾患医療センターとしての機能強化にも努めています。認知症の早期診断、適切な医療・ケアの提供はもとより、地域包括支援センターや介護事業所と連携し、家族支援や認知症への理解促進にも力を入れています。地域全体で認知症とともに生きる環境づくりを支えるため、医療と生活支援の橋渡し役を果たしてまいります。

当院は、理念に基づき「こころの和」と「地域の輪」を支える存在として、安心して暮らせる地域社会づくりに貢献してまいりました。これからも、職員一丸となって地域精神医療の充実に努めてまいります。

令和7年7月末日

病院長 藤井 泰

理念、基本方針等

理 念

「こころの和と輪」を大切に、
患者さま、ご家族、地域の皆さまと手を携え、信頼と満足 of 医療を目指します。

基本方針

- ・オホーツク圏における精神科医療の基幹病院としての役割を果たします。
- ・患者さまの権利を尊重し、安全で信頼される医療を提供します。
- ・人権を尊重し、地域との連携を深め、患者さまの社会参加を応援します。
- ・医の倫理を踏まえ、より質の高い医療を目指して職員の資質の向上に努めます。
- ・公的責務を自覚し、透明かつ適正な病院経営に努めます。

患者さまの権利と義務

「患者さまの権利」

向陽ヶ丘病院は「患者の権利宣言(リスボン宣言)」を尊重します。

- ・人権や価値観を尊重され、適正な医療を公平に受けることができます。
- ・病気や治療の内容について、十分な説明を受けることができます。
- ・十分な説明に基づき、自らの意志で医療内容を選択することができます。
- ・医療上の個人情報や秘密は守られます。
- ・あなたの診療情報の開示を求めることができます。

「患者さまの義務」

- ・ご自身の健康に関する情報を知らせていただきます。
- ・病気や治療の内容について、十分理解するように努力していただきます。
- ・病院のルールを守り、意欲を持って医療に参加していただきます。
- ・他の患者さまの医療を妨害する行為を慎んでいただきます。
- ・医療費を支払う義務があります。

臨床倫理綱領

- 1 患者さまの人権を尊重するとともに、患者さまと医療従事者が協力して患者さま中心の公正かつ公平な医療を提供します。
 - ・患者さまとご家族、関係者の権利を尊重し信頼関係に基づいた医療を行うよう努めます。
 - ・患者さまの個人情報などプライバシーを保護し、職務上の秘守義務を遵守します。
- 2 患者さまの信条や価値観に十分配慮し、生命倫理に関する法令、診療ガイドラインに添った医療を提供します。
 - ・研究、治験に際しては厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針」及び「向陽ヶ丘病院治験規定」を遵守します。
 - ・その他対応が必要な事例があった場合は、その都度、生命倫理に関する関係法令、ガイドライン、当院規定の実施手順に添って事例検討を行い、課題を明確にし最良の方針を決定します。
- 3 精神科特有の倫理に関する課題を積極的に検討し最善の医療を提供します。
 - ・患者さまの理解力や判断能力に応じて、医療内容やその他必要事項について十分説明し、信頼を得るように努めます。
 - ・患者さまの行動制限が必要な場合には、それを最小限にとどめるよう努力します。

職員の倫理

- 1 向陽ヶ丘病院の理念、基本方針を自己の行動の規範とします。
- 2 公務員倫理と医の倫理を踏まえ、患者さまの権利を尊重し、希望のもてる医療を実践します。
- 3 仕事に誇りを持ち、すべての患者さまに公平、平等な医療を行います。
- 4 より質の高い医療を提供するため、自己研鑽に努めます。
- 5 患者さまや地域からの信頼を得るよう努めます。

暴力対策指針

この指針は、北海道立向陽ヶ丘病院職員（以下「職員」という。）が暴力の基本を踏まえ、包括的かつ組織的に暴力の予防、対応、再発防止に取り組む方法を指針として示すことによって、職員を暴力から保護し、職員の安全と健康を確保するとともに快適な職場をつくり、もって質の高い安全な医療サービスを提供することを目的とする。

目 次

はじめに

理念、基本方針等

第 1	病院の概要	1
1	性格と機能	1
2	主な事業	1
3	施設概況	1
4	診療概要	1
5	組織機構	2
6	職員数	3
7	院内各種会議・委員会等の設置状況	4
8	会議・委員会等組織図	5
第 2	業務概要	6
1	医局	6
2	看護	7
3	薬局	1 1
4	栄養指導部門	1 2
5	放射線科	1 3
6	臨床検査科	1 4
7	地域連携室、地域連携科	1 5
8	地域連携室 リハビリテーション科（デイケア部門）	1 6
9	地域連携室 リハビリテーション科（作業療法部門）	1 7
10	地域連携室 臨床心理部門	1 8
11	認知症疾患医療センター	1 9
第 3	診療概況	2 0
1	年度別、病棟別入院患者動態	2 0
2	新入院患者の病名別・形態別患者数及び割合	2 2
3	新入院患者の病名別・年齢構成	2 8
4	新入院患者の年齢階層別人数及び割合の年次推移	3 4
5	入院患者の在院期間別人数及び割合	3 5
6	退院患者の退院先別入院期間別人数及び割合	3 6
7	入院患者の居住地別人数及び割合	3 8
8	入院患者の経路別人数及び割合	3 9
9	外来患者数の推移	4 0
10	初診外来患者の病名別分類	4 2
11	外来患者の居住地別人数及び割合	4 3
12	診療時間以外の診療件数内訳	4 4
13-1	精神科救急医療システム実績	4 4
13-2	救急車による患者搬入件数の年次推移	4 4

第 4	経営概況	4 5
1	決算状況	4 5
2	経営分析調	4 6
3	診療行為別件数	4 7
4	病床100床当たり職員数	4 8
5	医薬材料使用効率調	4 9
6	給食収益に対する材料費調	4 9
第 5	地域支援活動	5 0
1	診療支援	5 0
2	地域の保健、予防活動	5 0
3	講演	5 0
4	自助グループへの支援	5 1
5	網走保健所、市町村等との連携	5 1
第 6	研修、教育・実習	5 3
1	院内研修開催状況	5 3
2	院外研修会等参加状況	5 3
3	教育、実習の受入	5 6
第 7	医療事故等の状況	5 7
1	医療事故等の公表基準	5 7
2	医療事故等の発生状況	5 8
第 8	ご意見の概要	5 9
第 9	資料(網走の精神保健・医療)	6 0
1	オホーツク総合振興局管内の人口と面積	6 0
2	精神科医療機関の状況	6 0
3	精神保健福祉社会資源	6 0

第1 病院の概要

1 性格と機能

- ・道東北(北網)地域の精神医療の専門病院として、地域医療の公的使命を担っています。
- ・認知症疾患医療センターを設置し、認知症専門医療を実施しています。
- ・精神科デイケアを設置し、社会復帰のための機能を担っています。
- ・訪問看護を実施しています。
- ・精神科救急医療体制(オホーツクブロック)に参加しています。
- ・児童発達外来サテライト診療を実施しています。

2 主な事業

- (1) 入院及び外来患者に対する診療
道立病院として、精神障がい者に対する診療を実施
- (2) 社会復帰活動の実施
訪問看護活動、精神科デイケア、精神科ソーシャルワーク及び入院リハビリテーションを実施
- (3) 精神科救急医療体制への参加
オホーツクブロック精神科救急医療体制事業(緊急時の精神科医療確保のため行っている事業)に参加し、救急医療施設として緊急時に対応
- (4) 認知症専門医療
鑑別診断、急性期治療、専門医療相談の実施
- (5) 臨床研修の実施
臨床研修協力施設として、医師の卒後教育を実施
- (6) 実習学生等の指導
看護学生精神科看護実習等の指導を実施
北大診療参加型コア科臨床実習(医学生)を実施
- (7) 地域の保健・予防活動への支援
他関係機関に協力し、地域の保健予防活動、精神保健の普及活動を支援

3 施設概況

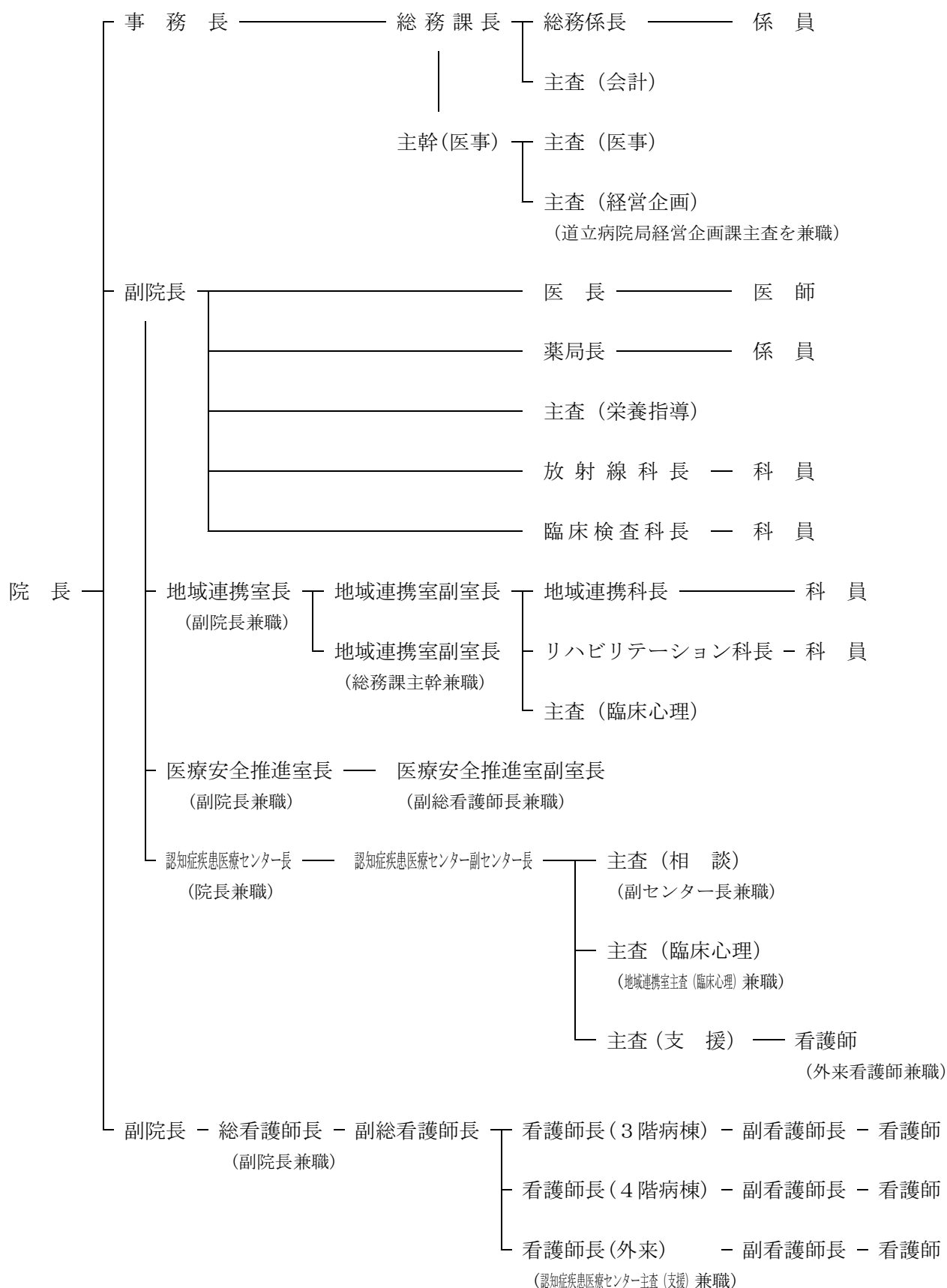
- (1) 所在地 網走市向陽ヶ丘1丁目5番1号
- (2) 敷地面積 27,220.12m²
- (3) 施設 病院 鉄筋コンクリート造4階・地下1階建て
延面積 6,187.95m²
デイケア棟 鉄筋コンクリート造地上2階・地下1階建て
延面積 886.18m²

4 診療概要 (2025年4月1日現在)

- (1) 診療科目 精神科・心療内科
- (2) 病床数 105床
3階病棟(開放・閉鎖)56床 4階病棟(閉鎖)49床
- (3) デイケア 定員～50名(大規模実施時)、30名(小規模実施時)
- (4) 指 定 保険医療機関、生活保護法指定医療機関、国民健康療養取扱機関、
労災保険指定医療機関、応急入院指定医療機関、
結核予防法指定医療機関、精神科救急施設等指定医療機関、
医療観察法指定通院医療機関、指定自立支援医療機関(精神通院医療)
- (5) 看護体制 入院基本料 15:1(看護配置加算70%以上)、看護補助加算1

5 組織機構

2025年4月1日現在



6 職 員 数

2025年4月1日現在

職 種 配置箇所		医 師	看 護 師	薬 剤 師	放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	管 理 栄 養 士	作 業 療 法 士	公 認 心 理 師	精 神 保 健 福 祉 士	事 務 職 員	合 計
医 局		3 (6)										3 (6)
看 護	外 来		4 (1)									4 (1)
	3 階 病 棟		22 (1)									22 (1)
	4 階 病 棟		16									16
薬 局				2							(1)	2 (1)
主 査 （ 栄 養 指 導 ）							1					1
放 射 線 科					2							2
臨 床 検 査 科						2 (1)						2 (1)
地 域 連 携 科	地 域 連 携 科		5							2		7
	リハビリテーション科		1					2		1		4
	主 査（臨 床 心 理）								1			1
総 務 課											9 (1)	9 (1)
認 知 症 疾 患 医 療 セ ン タ ー			1							1		2
合 計		3 (6)	49 (2)	2	2	2 (1)	1	2	1	4	9 (2)	75 (11)

※ 院長及び副院長は医局に、事務長は総務課、副院長兼総看護師長・副総看護師長は外来に計上

※ （ ）は、医師は非常勤委嘱医、その他は会計年度職員であり、外数

7 院内各種会議・委員会等の設置状況

2025年4月1日現在

名 称	所 掌 事 項
幹 部 会 議	病院の管理運営に関する事
院 内 会 議	病院の運営その他連絡調整に関する事
経 営 推 進 会 議	北海道病院事業改革プランの推進に関する事
増 収 対 策 検 討 部 会	診療報酬に係る査定等及び新たな加算の取組に関する事
医 局 会 議	医師の業務の連絡調整に関する事
看 護 師 長 会 議	看護業務の管理運営に関する事
副 看 護 師 長 会 議	看護部門の実践業務に関する事
診 療 会 議	医療業務の連絡調整に関する事
診 療 録 管 理 委 員 会	診療記録の作成、保存・管理に関する事
ク リ ニ カ ル パ ス 委 員 会	クリニカルパスの導入と運用・管理に関する事
薬 事 委 員 会	医薬品の採用、管理その他薬事に関する事
栄 養 委 員 会	栄養指導、患者給食及び食中毒予防に関する事
褥 瘡 対 策 委 員 会	褥瘡対策に関する事
N S T (栄養サポートチーム)	栄養管理対策に関する事
医 療 検 査 委 員 会	医療検査の適正化に関する事
患者サービス向上委員会	患者へのサービスの向上に関する事
デ イ ケ ア 検 討 会 議	デイケア利用者の受入れ、利用促進に関する事
デ イ ケ ア 連 絡 会 議	デイケアの運営に関する事
医 療 安 全 管 理 委 員 会	医療の安全管理対策の総合的な企画、実施に関する事
医 療 安 全 実 務 者 会 議	医療事故の調査、研究その他医療事故の防止に関する事
医 療 機 器 安 全 管 理 委 員 会	医療機器の安全管理に関する事
感 染 対 策 委 員 会	院内感染防止体制の確立、対策の推進に関する事
院内感染制御チーム (I C T)	具体的、実践的院内感染対策の実行
臨 床 倫 理 委 員 会	臨床における倫理に関する事
行 動 制 限 最 小 化 委 員 会	行動制限の適正化の確保と最小化に関する事
情 報 等 管 理 委 員 会	院内情報の総合的管理に関する事
診 療 情 報 開 示 委 員 会	診療情報の開示に関する事
虐 待 防 止 委 員 会	虐待の防止、早期発見、早期対応に関する事
院 内 研 修 協 議 会	院内研修会の企画・開催に関する事
診 療 支 援 検 討 委 員 会	医療機関への診療支援に関する事
広 報 委 員 会	病院の広報に関する事
地 域 連 携 室 運 営 会 議	包括的地域医療と地域移行支援に関する事
医療保護入院者退院支援委員会	入院帰化の適正化・退院支援に関する事
防 災 委 員 会	災害や予期しない事象への準備・対応に関する事
B C P 検 討 部 会	病院事業継続計画の推進・見直しに関する事
防 火 管 理 委 員 会	防火管理に関する事
医 療 ガ ス 安 全 ・ 管 理 委 員 会	医療ガス設備の安全管理に関する事
安 全 衛 生 委 員 会	職員の健康、職場環境に関する事
医師及び看護師負担軽減推進委員会	負担軽減計画に関する事
機 種 選 考 委 員 会	医療機器等の機種の選考に関する事
入 札 参 加 者 指 名 選 考 委 員 会	指名競争入札等の参加者の指名選考に関する事

8 会議・委員会等組織図

2025年4月1日現在



第2 業務概要

1 医 局

現在、常勤医3名・出張医3名（精神保健指定医5名）にて院内の診療に当たっている。その他、個々の症例のカンファレンスに加え、各部署の代表者からなる会議、委員会、ワーキンググループへの参加を通じて、院内の他職種と連携を図っている。

院外においては移動精神保健相談、保健所、看護学院、刑務所などで診療、教育、啓発活動を実践している。長期入院患者の退院を積極的に支援する流れが広まり、地域生活支援センター、地域の保健師、訪問看護ステーション、グループホーム、共同作業所などと連携を取りながら、院外での患者の生活支援を検討し、退院促進にも努めている。

なお、外来診療は主治医制を基本とした予約制を導入しており、待ち時間の短縮並びに診察内容の充実を図っている。

(1) 医師配置状況(2025年4月1日現在)

病院長 藤 井 泰
副院長 梅 津 弘 樹
医 長 直 江 亮
医 師 北 村 一 紘 （出張医）
医 師 菱 山 真 広 （出張医）
医 師 木 村 憲 一 （出張医）

(2) 外来診察医(2025年4月1日現在)

曜日	午前 1 診	午前 2 診	午前 3 診	午前 4 診	午後 2 診	午後 3 診	午後 4 診
月	藤 井	梅 津 (新患)	直 江	—	—	—	—
火	藤 井	梅 津	—	木 村 (出張医)	—	直 江	木 村 (出張医)
水	藤 井 (新患)	梅 津	直 江	—	—	—	—
木	藤 井	—	—	菱 山 (出張医)	梅 津	—	菱 山 (出張医)
金	—	—	直 江 (新患)	北 村 (出張医)	—	—	北 村 (出張医)

2 看護

(1) 理念

私たち看護職は、心に病を持つ方の健康回復のために支援します。また、地域の医療福祉機関と連携しながら、地域の人々から信頼される医療・看護の提供に努めます。

【方針】

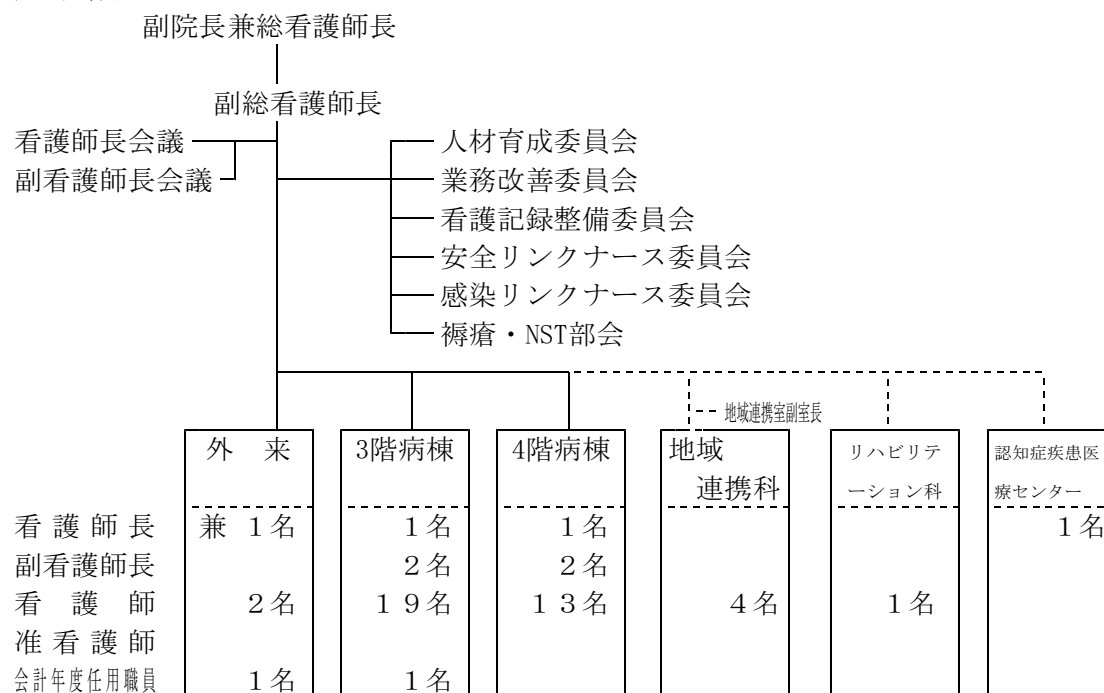
- ・ 看護者の倫理綱領に基づき、心かよう看護を提供します。
- ・ 安全を確保し、心安まる療養環境を整えます。
- ・ 看護の専門性を高め、地域のニーズに応えられる専門職業を目指します。

【目標】

地域に求められる精神病院として、専門性を発揮した質の高い看護を提供する

- ・ 安全で倫理観に留意した、良質な看護サービスを提供する
- ・ 自立した、その人らしい生活への移行を支援する
- ・ 病院の方針を理解し、組織の一員として経営に参画する
- ・ 主体的にキャリア開発に取り組む看護師の育成

(2) 組織図（2025年4月1日現在）



(3) 看護体制（2025年4月1日現在）

看護単位・・・3単位

3階病棟 開放・閉鎖・・・男女混合56床

開放 33床 閉鎖 23床

（保護室 1床、合併症室 1床 を含む）

4階病棟 閉鎖・・・男女混合 49床

（保護室 5床、合併症室 1床 を含む）

外 来

地域連携室 地域連携科
リハビリテーション科
認知症疾患医療センター

(4) 勤務体制

病棟・・・3交代制、2交代制、複数夜勤、遅出勤務

(5) 入院基本料

入院基本料 15：1

看護配置加算（看護師70%以上）

看護補助加算 1 30：1

(6) 運営概要

① 看護職員関連

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
離職率（％）	3.8	1.6	1.9	14.9	4.0
平均勤続年数（年）	12.2	11.8	12.0	13.2	13.4
平均年休取得率（％）	57.2	54.0	50.2	47.4	31.2
平均代休取得率（％）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
病気休暇取得率（％）	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01

平均勤続年数は北海道職員採用年から算出する

（年休取得率＝当該年度の取得日数／当該年度の付与日数）前年度からの繰越日数は含まない

（病気休暇取得率＝病気休暇取得日数／その年度の勤務日数×職員数）

② 医療安全関連

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
アクシデント発生率（％） （アクシデント＝レベル2以上）	4.7	4.7	2.3	3.0	2.4
針刺し事故発生件数（件）	0	0	0	0	0
公務災害認定発生件数（件）	0	0	1	0	0
褥瘡発生率（％）	0.80	0.70	0.00	0.50	0.40

* 褥瘡発生率＝当月の褥瘡発生者数／当月の入院患者数＋前月の在院患者数

(7) 病棟の概要

病 棟 名	概 要
3 階病棟	病棟は56床の混合病棟で閉鎖23床、開放33床に分かれている。 閉鎖フロアは主に老年期精神疾患患者が対象であり、吸引・酸素の設備を設置している個室が6室、4床室が4室、ナースステーションに隣接した合併症室が1室あり、内科疾患合併症患者の身体管理も行っている。 患者は認知症の中等度から高度の症状を呈し、周辺症状である行動障害・せん妄の精神症状を伴っており、薬物療法を中心に治療を行っている。生活全般における介助、身体管理、摂食嚥下訓練対象者が多い現状にあり、また、患者の日常生活援助や、認知症の症状による暴力等の対応から、看護師複数名での対応を基本としている。また、患者の多くは自ら身体不調を訴えることが出来ないため、異常の早期発見、転倒・転落等安全面への配慮に努めている。合併症等による基礎疾患や薬物による副作用などで全身状態が変化しやすい傾向から、日常生活能力の低下防止を目的とした作業療法プログラムを実施している。 開放フロアは、吸引・酸素の設備を設置した個室が5室、その他の個室が7室、4床室が5室、保護室が1室あり、開放時間は8時30分から18時までである。 患者は感情障害、神経症、てんかん、依存症、人格障害などの疾患名であり、レスパイト目的や再燃を繰り返す統合失調症患者などである。 高齢化に伴い、身体合併症のある患者が増加しており、日々の看護により自己の回復能力を高められるよう支援している。また、セルフケア能力の低下予防と向上を目的に作業療法士と連携し、個別性を考慮した作業療法プログラムの選択と参加を行っている。 また、継続した心理教育として疾病の受容と理解、治療継続の理解・対処能力の向上・社会生活が継続できる資源活用への支援を患者・家族へ提供していくよう取り組んでいる。 退院支援については、患者に適した生活環境提供のため本人・家族と相談し退院前訪問看護の実施や施設職員・ケアマネージャーなど地域関係者との連携を積極的に行い、退院後も患者・家族が安心して生活できるよう、他職種カンファレンスを行いながら支援している。

4 階病棟	保護室5床を有する49床の閉鎖病棟である。患者の主な疾患は統合失調症である。その中には発達障害、認知症などを伴っている患者もいる。その他の疾患では、アルコール依存症、うつ病、双極性感情障害の患者がいる。主に急性期症状を呈している患者や、統合失調症の慢性期でセルフケア能力の低下など、再燃・緩解を繰り返す病状が不安定な患者の入院治療を行っている。 平均在院日数は約130.5日（2024年度）で、慢性期患者の場合、病状の再燃を繰り返し入院が長期化している。長期入院に伴い、患者や家族の高齢化から、外泊・面会などの機会が減り、社会と接する機会が少なくなっている。また、生活習慣病等の身体疾患や合併症が重なり、セルフケア能力の低下、全身管理の必要な患者が増加し、治療・看護へのニーズが多様化している。社会環境の変化に伴い、精神疾患であっても地域で生活できる環境が整備されてきており、疾患教育や地域、多職種と連携し、早期退院に向けた支援を行っている。 退院支援として、作業療法や多職種との連携を図り、対人関係能力の向上や日常生活課題の改善に向けて取り組んでいる。また、デイケアの院内試験通所や退院前訪問看護、地域との連携を実施し、退院後安定した生活が送れるよう支援している。
-------	--

(8) 外来の概要

精神科医療は、入院治療中心から地域で生活することへの支援に変化しており、精神疾患を持ちながらも症状をコントロールし、地域でその人らしく生活できることを目指した生活支援へと外来の役割が拡大されつつある。当院は道東北地域の精神医療の専門病院として、精神科救急医療体制（オホーツクブロック）に参加している。また、認知症疾患医療センターを設置し、認知症専門医療と児童発達外来サテライト診療を実施している。

診療体制は患者サービスの向上を目的とし、新規外来患者、再来患者の完全予約診療を行っている。午前3診療、火・木・金曜日は午後の診療も行っている。

看護の主な業務は、診療介助、患者・家族相談、院内の医材料一元管理のため中央材料室を担当している。中央材料室業務は、各セクションの医療衛生材料及び器材の管理を行っている。地域との連携では、作業所・共同住居及び保健・福祉関係者とのサポート会議・ヘルパー会議などへの参加、デイケア会議への情報提供を行っている。

3 薬 局

薬局では各部門、保険薬局等と連携し以下の業務に取り組んでいる。

また、2017年度からはデイケア通所者を対象としたプログラムの一環としてお薬教室の講師をするなど、入院患者に限らない活動をしている。

2021年度下期からは常勤薬剤師が2名となったため、準備期間を経て2021年11月より薬剤管理指導を再開した。

(1) 2024年度 月別業務量

	入院処方			入院注射	外来（院内）			外来注射	持参薬	院外処方
	枚数	調剤数	延剤数	枚数	枚数	調剤数	延剤数	枚数	枚数	枚数
4月	269	693	4,434	154	17	50	1,400	125	62	1,446
5月	290	796	4,005	144	19	47	1,226	125	72	1,394
6月	307	889	4,345	130	16	43	1,253	115	65	1,352
7月	310	855	4,871	143	18	45	1,231	135	65	1,445
8月	270	806	4,136	147	22	56	1,501	119	62	1,403
9月	293	796	4,154	146	18	41	1,268	120	88	1,277
10月	372	1,034	6,179	144	18	43	1,246	130	84	1,477
11月	308	771	3,264	203	23	63	1,779	116	76	1,334
12月	343	863	4,886	221	18	37	1,025	117	91	1,327
1月	254	696	4,285	134	23	53	1,579	115	61	1,282
2月	239	681	4,038	119	17	39	1,090	111	66	1,099
3月	277	800	5,329	175	22	53	1,520	122	67	1,285
合計	3,532	9,680	53,926	1,860	231	570	16,118	1,450	859	16,121

- ・外来患者については原則として院外処方箋を発行し、保険薬局で薬を受領していただく
- ・業務量としての数字であり、診療報酬に関する値とは異なる

(2) 外来疑義照会件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	52	52	46	30	51	71	82	54	41	55	24	34	592

- ・外来看護師とともに対応していたが、2021年10月から原則薬剤師が担当

(3) 薬剤管理指導業務件数（退院時指導件数を含む）

※（ ）は、退院時指導

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	11	10	18	12	15	8	16	20	10	14	7	24	165
	(5)	(5)	(8)	(4)	(7)	(4)	(7)	(10)	(5)	(6)	(0)	(9)	(72)

- ・算定件数として表記

(4) その他

- ・医薬品等の情報提供（Drug news発行）
- ・感染対策委員会／医療安全委員会／褥瘡対策委員会／薬事委員会 など

4 栄養指導部門

(1) 業務概況

栄養管理体制は入院基本料に包括評価となっており、当院では入院患者全員に栄養計画および栄養評価を行っている。また、褥瘡対策チーム・栄養サポートチームの一員として医師や看護師、薬剤師等と連携し褥瘡、低栄養、嚥下障害等に対応している。

患者個々の嚥下状態に合った食事作りに力を入れており、嚥下調整食の基準は日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類に準じている。

(2) 特別食

身体合併症のある患者に特別食を提供している。種類は糖尿病食、肝臓食、腎臓食、膵臓食、貧血食、心臓食、低残渣食などである。

(3) イベント食

行事食として正月、節句、春秋の彼岸などの季節毎の行事食の他、月1回のおやつの日、誕生日会には全員にお菓子を提供し、誕生月の方にはバースデーカードを添えている。また選択食は週3回実施しており、メニューを選ぶことで病院食を楽しんで頂いている。

(4) 栄養指導

栄養指導が必要な患者に精神症状などで困難な場合を除き、栄養指導を実施している。高度肥満症、糖尿病、アルコールパスなどが主な指導である。

(5) 食種別給食数(デイケア食含む)

(単位：食)

	常食	軟菜食	流動食	経管流動	特別食	嚥下調整食	和み食	合計
2020年度	22,077	10,252	1,547	1,746	10,640	21,054	46	67,362
2021年度	18,898	15,750	1,505	1,330	10,589	21,236	507	69,815
2022年度	17,153	13,353	382	115	7,492	15,238	679	54,412
2023年度	15,592	9,883	53	241	6,329	12,126	1612	45,836
2024年度	12,933	12,421	1	0	4,832	9,594	1422	41,203

(6) 1食当たり平均給食数(デイケア食含む)

(単位：食)

	常食	軟菜食	流動食	経管流動	特別食	嚥下調整食	和み食	合計
2020年度	20.2	9.4	1.4	1.6	9.7	19.2	0.0	61.5
2021年度	17.3	14.4	1.4	1.2	9.7	19.4	0.5	63.8
2022年度	15.7	12.2	0.3	0.1	6.8	13.9	0.6	49.7
2023年度	14.2	9.0	0.0	0.2	5.8	11.1	1.5	41.9
2024年度	11.8	11.3	0.0	0.0	4.4	8.8	1.3	37.6

(7) 栄養指導件数(個別)

(単位：件)

年 度	2020	2021	2022	2023	2024
件数	144	143	129	110	109

5 放射線科

(1) CT検査

CT検査は、初診時における頭部検査が主であるが、高齢化が進み合併症を伴う患者も少なくなく胸部及び腹部の検査は重要になってきている。

昨年度も含め連続して検査数の減少傾向にある。

これは外来患者数及び入院患者数が毎年減少傾向にあることが原因として考えられる。

(2) 一般撮影

一般撮影検査の主たるものは、入院時における胸部・腹部単純撮影である。

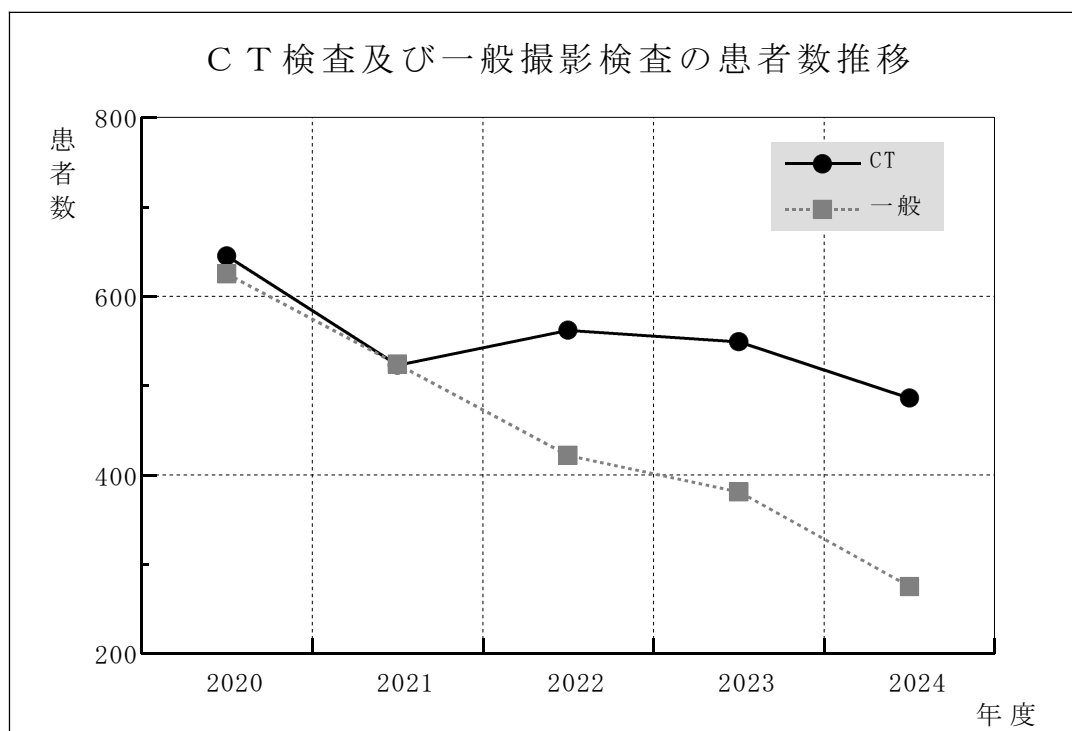
また入院外来共に定期的な検査も行っている。

昨年度とも同様に減少し続けている傾向にある。

これは上記同様に外来患者数及び入院患者数が毎年減少傾向にあることが原因として考えられる。

(3) CT・一般X線撮影検査患者数の推移 (2020～2024年度 単位：人)

区分	入院・外来	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CT検査	入院	235	157	91	158	158
	外来	410	366	471	391	328
合 計		645	523	562	549	486
一般撮影	入院	463	293	187	151	157
	外来	162	231	235	230	118
合 計		625	524	422	381	275



6 臨床検査科

(1) 臨床検査業務概況

① 2024年度の臨床検査業務

検査業務は検体検査で67,859件、生理検査で197件であった。

② 血中薬物濃度検査の依頼件数の推移

2020年度から血中薬物濃度検査件数の推移は1,187件、864件、782件、588件、484件であった。

(2) 年度別臨床検査件数

年度	区分	生化学	免疫	血液	尿・便	細菌	薬物	生理検査			その他	合計
								脳波	心電図	その他		
2020	院内	62,642	1,968	18,039	2,750	0	895	35	239	5	0	86,573
	委託	1,126	36	149	2	284	292	0	0	0	0	1,889
	合計	63,768	2,004	18,188	2,752	284	1,187	35	239	5	0	88,462
2021	院内	54,808	1,820	15,050	1,442	0	652	19	205	0	0	73,996
	委託	1,102	7	129	728	293	212	0	0	0	0	2,471
	合計	55,910	1,827	15,179	2,170	293	864	19	205	0	0	76,467
2022	院内	59,295	1,628	15,361	1,834	0	584	15	166	0	0	78,883
	委託	1,587	17	113	0	64	198	0	0	0	0	1,979
	合計	60,882	1,645	15,474	1,834	64	782	15	166	0	0	80,862
2023	院内	51,113	1,489	13,336	1,587	0	429	11	121	0	0	68,086
	委託	1,348	132	132	5	196	159	0	0	0	0	1,972
	合計	52,461	1,621	13,468	1,592	196	588	11	121	0	0	70,058
2024	院内	50,436	1,443	12,993	1,409	0	324	32	165	0	0	66,802
	委託	683	173	70	0	168	160	0	0	0	0	1,254
	合計	51,119	1,616	13,063	1,409	168	484	32	165	0	0	68,056

7 地域連携室

(1) 地域連携室業務概況

地域連携室は2017年4月1日に地域連携科と共に設置された。2025年4月1日現在、地域連携室は室長（副院長）、副室長2名、地域連携科長、地域連携科（看護師5名、精神保健福祉士2名）で構成されている。地域連携室業務では地域連携室副室長、精神保健福祉士が地域連携窓口となり対応している。地域連携科は主に訪問看護業務を中心としながら、地域の多職種会議への参加等を行い地域連携業務を行っている。地域連携室は地域の精神科医療のニーズを把握し、他の医療機関、関係施設、地域の多職種と連携を図り、患者が安心して地域で暮らすための精神科医療の提供を行っている。

【主な業務内容】

① 相談業務、前方支援・後方支援

医療機関や関係機関からの相談に応じて、受診調整や情報共有を行っている。

また、退院支援として、本人・家族のニーズに沿った意思決定支援に伴う関係機関との情報共有やケア会議の調整、開催などの役割を果たしている。

主な支援件数（2024年度）

内 容	実施件数	内 容	実施件数
入院患者相談	967	他機関との連携（医療機関）	417
外来患者（家族）相談	955	〃（その他）	1,013

② 広報活動

斜網地域及び近隣の関係機関への訪問や医療福祉連携に関する会議に参加し、医療提供に関する案内等を適時行っている。また、院外広報誌を関係機関に年2回送付している。

(2) 地域連携科の業務概況

訪問看護業務を行い、患者が安心して地域生活を継続できるよう院内及び地域の多職種と連携を図り、患者家族の思いに沿い、患者家族のストレングスを大切にした患者参加型看護計画の立案、目標共有を図り看護ケアを提供している。訪問看護は平日に5日間、1日平均7～17件、訪問範囲は網走市内の他に大空町・美幌町・斜里町・小清水町・清里町などの市外訪問も実施している。2024年4月1日現在、127名の患者が利用されている。

訪問内容として病状の観察、服薬管理・通院状況、日常生活、金銭管理等についての相談や支援を行っている。また、院外他職種である作業所・共同住居・保健福祉関係者との情報共有を行い、その他、患者サポート会議（年12回）・ヘルパー会議（年6回）に参加している。院内においては病棟、外来との連絡会議、病棟カンファレンスの参加、病棟看護師との退院前訪問を実施し、入院患者が安心して在宅生活に移行できるよう支援している。

訪問看護件数の推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
訪問看護件数	3,195	2,869	2,681	2,436	2,261
月平均（件数）	266	239	223	203	188

8 地域連携室 リハビリテーション科（デイケア部門）

当院のデイケアは、オホーツク医療圏では初めて開設され、1996年7月1日に本格的に活動が開始された。2008年4月からは、デイケアショート利用を導入し、デイケアの半日利用を可能にすることにより、患者の利便性の向上を図っている。2012年1月から水曜日も通所日にあて、平日の毎日通所（週5日）となった。

2025年4月1日現在、スタッフは、医師（兼務）1名、看護師1名、精神保健福祉士1名、作業療法士1名の合計4名で構成され、加えてプログラム講師5名を外部に委嘱している。

(1) 通所者（メンバー）

表1 利用者数

（単位：日、人）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
開 所 日 数	243	241	243	243	243
延 べ 通 所 者 数	5,841	4,995	5,040	5,145	5,027
1 日 平 均 通 所 者 数	24.0	20.7	20.7	21.2	20.7
新 規 登 録 者 数	21	7	12	6	8
登 録 者 数	88	88	87	79	71
男 性	60	59	55	45	41
女 性	28	29	32	34	30

表2 疾病別

（単位：人）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
統 合 失 調 症	60	60	60	65	48
躁 う つ 病	2	2	2	2	2
て ん か ん	1	1	1	1	0
薬 物 依 存	0	0	0	0	0
非 定 型 精 神 病	0	0	0	0	0
そ の 他	25	25	19	11	20

(2) デイケアプログラム

木曜午後は月に1回、「グループ ミーティング」、「茶道」「食と健康の講座」（管理栄養士の話）を実施している。これまでは、統合失調症を中心とした退院支援の受け入れが多かったが、2020年度から、主にうつ病等で仕事を退職または休職している方を対象とした「復職プログラム」を導入した。

表3 週間プログラム(2025年4月現在)

	月	火	水	木	金
9:00	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会	朝 の 会
10:00	陶 芸	絵 画	やさしい体操	健 康 運 動	グループ活動
12:00	グループ活動	グループ活動	グループ活動	自 主 活 動	復職プログラム
	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	生活向上 復職プログラム	全体ミーティ ング、おはな しクラブ	手 芸 グループ活動	週替プログ ラム	七 宝 グループ活動
15:00			復職プログラム	グループ活動	
16:00	終わりの会	終わりの会	終わりの会	終わりの会	終わりの会

9 地域連携室 リハビリテーション科（作業療法部門）

当院での精神科作業療法は、１９９４年７月に北海道知事の承認を得て開始となる。

医師（兼務）１名、作業療法士１名、助手（非常勤職員）１名で構成されていたが非常勤職員の退職に伴い助手の配置が２０１５年３月で終了となった。

作業療法の週間プログラムは、作業療法士が中心となって病棟内で行うものと、講師と共に生活療法室や訓練棟など病棟以外の場所で行うものがある。以前は月に２～３回の講師指導日のみの変則的な活動だったが、２００２年４月以降は毎週実施となる。

２００８年は第４病棟休床に伴い週間プログラムを変更し、定期的にカンファレンスを実施する状況となった。２００９年には高齢者の増加に伴い転倒予防のプログラムとして「ふまねっと運動」を導入した。病棟看護師で実施していたSSTだが２０１５年から作業療法士も加わるようになりグループホームやケアホームなどの施設を見学するなどし長期入院者が退院後の生活を現実的に考えられるよう取り組んだ。

改築移転にあわせ２０１６年６月から週間プログラム変更、年齢や状態に合わせ参加しやすいよう構成した。

２０１７年度から組織機構が変わり作業療法科から地域連携室リハビリテーション科作業療法部門となる。

表1 週間プログラム(2025年4月現在)

	月	火	水	木	金
9:45	4F 創作活動	体力作り	悠々音楽会	悠々創作活動	創作活動
11:45					
14:00					
16:00	調理	悠々体操	生活力向上	4F音楽会	4F グループ活動

表2 活動状況

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
開催日数		240	233	224	217	217
参加数		5,330	5,153	3,968	2,766	2,516
算定数		4,807	4,767	3,565	2,499	2,281
一 日 平 均	参加数	22.3	22.0	17.7	12.7	11.6
	算定数	20.1	20.4	15.9	11.5	10.5

10 地域連携室 臨床心理部門

(1) 業務概況

臨床心理業務は、心理学の知識や技法をベースとして、心理的な問題や不適応行動などのアセスメントや援助を行うものである。具体的には、心理検査や心理療法の提供などが挙げられる。また、認知症疾患医療センターの配属として、もの忘れ外来にて認知機能検査を実施している。

(2) 心理検査および認知機能検査

心理検査は、知能検査を中心に、各種心理検査を実施することで、診断や治療、リハビリテーション等のための重要な情報の一つになる。また、認知機能検査は、認知症の鑑別診断、認知機能の程度を把握することを目的に行われる。各種検査は、患者の負担を少なく効率よく行われるよう、検査バッテリーの組み方を検討しながら実施している。

表1 2024年度に実施した主な心理検査

WAIS-IV成人知能検査	WISC-IV知能検査	田中ビネー知能検査V
MMPI ミネソタ多面的人格目録	P-Fスタディ	AQ自閉症スペクトラム指数
PARS-TR (ASD評価尺度)	CAARS (ADHD評価尺度)	Conners 3 (ADHD評価尺度)

表2 2024年度に実施した主な認知機能検査

ベントン視覚記銘検査	前頭葉評価バッテリー	MoCA-J
時計描画テスト	ノイズ・パレイドリアテスト	

表3 実施件数 (人)

	認知機能検査				心理検査			合計
	外来	もの忘れ外来	入院	小計	外来	入院	小計	
2022年度	0	172	4	176	148	24	172	348
2023年度	0	137	1	138	96	34	130	268
2024年度	0	78	4	82	70	6	76	158

(3) 個人心理療法

個人心理療法は、支持的カウンセリングを主体として、認知行動療法的技法などを取り入れながら実施している。対象者は主に気分障害の患者であり、就学・就労中の方もいる。個人心理療法では、自分自身を客観的に捉える自己分析力を高め、コーピング力を身につけることを目標としている。

11 認知症疾患医療センター

北海道立向陽ヶ丘病院認知症疾患医療センターは、オホーツク第三次保健医療福祉圏における認知症疾患の保健医療水準向上を図るためのものであり、具体的には保健・医療・福祉・介護機関等と連携し、鑑別診断、急性期医療、専門医療相談等を実施するとともに、関係者への研修等を行っている。

<実績>

1 もの忘れ外来における診療について

単位：人

	新規患者	専門医療相談	急性期入院	医療機関からの紹介
2022 年度	214	447	12	88
2023 年度	166	353	4	89
2024 年度	125	350	3	75

2 もの忘れ外来新規患者各内訳

1) 居住地

単位：人（％）

	網走市	斜里町	清里町	小清水町	大空町	その他
2022 年度	111 (51)	31 (15)	12 (6)	23 (11)	15 (7)	22 (10)
2023 年度	73 (43)	41 (25)	11 (7)	10 (6)	11 (7)	20 (12)
2024 年度	54 (42)	31 (25)	5 (4)	11 (9)	7 (6)	17 (14)

2) 年齢

単位：人（％）

	～59	60～	70～	80～	90～
2022 年度	5 (2)	19 (9)	79 (37)	86 (40)	25 (12)
2023 年度	2 (1)	11 (7)	63 (38)	64 (38)	26 (16)
2024 年度	1 (1)	13 (10)	38 (30)	59 (48)	14 (11)

3) 疾患

単位：人（％）

	アルツハイマー型 認知症	血管性 認知症	前頭側頭型 認知症	レビー小体型 認知症	軽度 認知障害	その他
2022 年度	83 (39)	12 (6)	1 (1)	4 (2)	12 (6)	102 (46)
2023 年度	73 (44)	5 (3)	－	1 (1)	35 (21)	52 (31)
2024 年度	54 (42)	5 (4)	3 (3)	2 (2)	22 (18)	39 (31)

3 専門医療相談内容

単位：人（％）

	もの忘れ外来受診	病状・症状	その他
2022 年度	251 (56)	57 (13)	139 (31)
2023 年度	207 (59)	53 (15)	93 (26)
2024 年度	168 (48)	53 (15)	129 (37)

4 地域啓蒙活動について

2 件(令和 6 年度網走市民健康まっりの参加等)

5 研修会の開催について

1) 研修会講師派遣 5 件(斜里町認知症の人を支える家族介護者交流等)

2) 医療及び介護関係者等への研修会 3 件 (アルツハイマー病の新しい治療薬について等)

第3 診療概況

1 年度別、病棟別入院患者動態

(入院患者数、1日平均患者数、入退院患者数、病床利用率、平均在院日数)

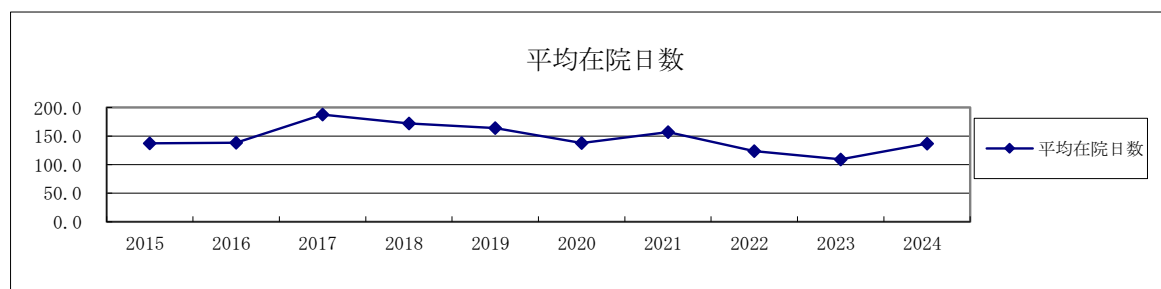
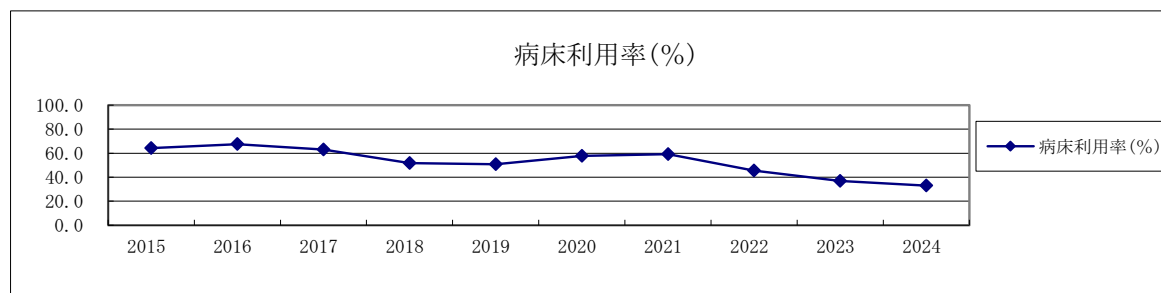
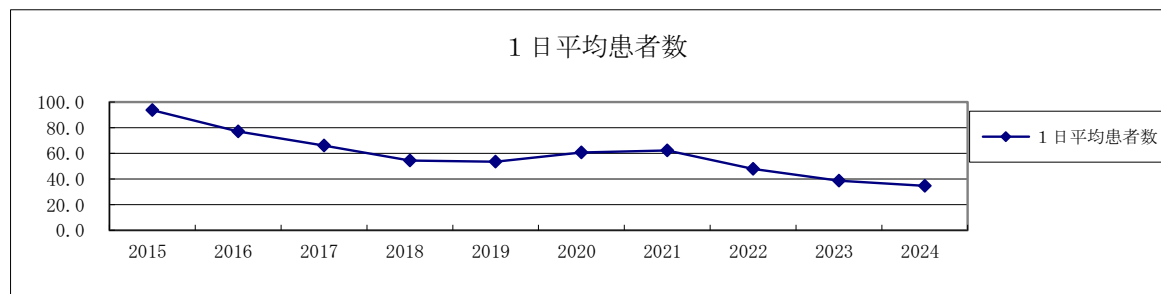
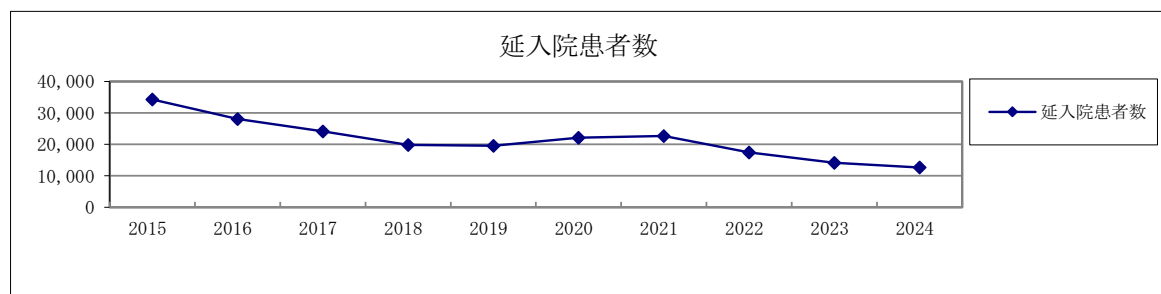
病棟 (病床数)	区 分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
3階病棟 (56)	延入院患者数	10,816	11,084	8,230	6,684	6,144
	1日平均患者数	29.6	30.4	22.5	18.3	16.8
	入院患者数	79	59	59	54	40
	退院患者数	80	74	81	62	45
	病床利用率	52.9	54.2	40.3	32.6	30.1
	平均在院日数	135.0	165.6	116.4	114.2	143.5
4階病棟 (49)	延入院患者数	11,295	11,594	9,229	7,495	6,508
	1日平均患者数	30.9	31.8	25.3	20.5	17.8
	入院患者数	88	81	73	68	52
	退院患者数	72	73	67	73	47
	病床利用率	63.2	64.8	51.6	41.8	36.4
	平均在院日数	140.3	149.6	130.9	105.3	130.5
合 計	延入院患者数	22,111	22,678	17,459	14,179	12,652
	1日平均患者数	60.6	62.1	47.8	38.7	34.7
	入院患者数	167	140	132	122	92
	退院患者数	152	147	148	135	92
	病床利用率	57.7	59.2	45.6	36.9	33.0
	平均在院日数	137.7	157.0	123.7	109.3	136.5

年 間 の 患 者 動 態

延入院患者数・1日平均患者数・入院患者数・病床利用率・平均在院日数 (2015～2024年度)

区分	延入院患者数	1日平均患者数	入院患者数	退院患者数	病床利用率(%)	平均在院日数
2015	34,283	93.7	233	262	64.2	137.5
2016	28,087	77.0	201	202	67.5	138.4
2017	24,133	66.1	118	138	63.0	187.5
2018	19,826	54.3	114	115	51.7	172.1
2019	19,543	53.4	115	122	50.9	163.9
2020	22,111	60.6	167	152	57.7	137.7
2021	22,678	62.1	140	147	59.2	157.0
2022	17,459	47.8	132	148	45.6	123.7
2023	14,179	38.7	122	135	36.9	109.3
2024	12,652	34.7	92	92	33.0	136.5

(注) 2016年6月20日、許可病床数が146床から105床へ変更



2-1 新入院患者の病名別・形態別患者数及び割合

2020年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 入 意 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		25	3		28
F01 血管性認知症		7			7
F02 その他の疾患による認知症					
F05 せん妄		10	1		11
F0 (上記以外の疾患)		12	3		15
F10 アルコール使用による障害		5	1		6
F1 (上記以外の疾患)		1			1
F20 統合失調症	1	23	18		42
F2 (上記以外の疾患)		6	1		7
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		2	6		8
F32 うつ病エピソード		6	5		11
F33 反復性うつ病性障害					
F3 (上記以外の疾患)					
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害			4		4
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害		3			3
F44 解離性（転換性）障害		1			1
F45 身体表現性障害		1	4		5
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティー及び行動の障害					
F7 精神遅滞		6	1		7
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん					
その他		7	3		10
合 計	1	116	50		167
構成比%	0.6	69.5	29.9		100.0

2021年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 入 意 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		17	1		18
F01 血管性認知症		7			7
F02 その他の疾患による認知症					
F05 せん妄		4			4
F0 (上記以外の疾患)		11	4		15
F10 アルコール使用による障害		3	3		6
F1 (上記以外の疾患)					
F20 統合失調症	1	24	16		41
F2 (上記以外の疾患)		3			3
F30 躁病エピソード		1			1
F31 双極性感情障害		4	2		6
F32 うつ病エピソード		2	7		9
F33 反復性うつ病性障害					
F3 (上記以外の疾患)		1			1
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害			3		3
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害		2			2
F44 解離性（転換性）障害			1		1
F45 身体表現性障害		1	1		2
F4 (上記以外の疾患)			2		2
F50 摂食障害		1			1
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害					
F7 精神遅滞		1			1
F84 広汎性発達障害		1	1		2
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害			1		1
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん					
その他		12	2		14
合 計	1	95	44		140
構成比%	0.7	67.9	31.4		100.0

2022年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 入 意 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		17	1		18
F01 血管性認知症		4			4
F02 その他の疾患による認知症					
F05 せん妄		5			5
F0 (上記以外の疾患)		17			17
F10 アルコール使用による障害			1		1
F1 (上記以外の疾患)					
F20 統合失調症		31	8	1	40
F2 (上記以外の疾患)		3	1		4
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		4	2		6
F32 うつ病エピソード		5	7		12
F33 反復性うつ病性障害			1		1
F3 (上記以外の疾患)					
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害		2	2		4
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害		1			1
F44 解離性(転換性)障害		3			3
F45 身体表現性障害		1	3		4
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害		1	1		2
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害					
F7 精神遅滞		1	1		2
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害		1			1
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		2			2
その他		5			5
合 計		103	28	1	132
構成比%		78.0	21.2	0.8	100.0

2023年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 入 意 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		17	1		18
F01 血管性認知症		3			3
F02 その他の疾患による認知症		2			2
F05 せん妄		3			3
F0 (上記以外の疾患)		5	1		6
F10 アルコール使用による障害		4	2		6
F1 (上記以外の疾患)		1			1
F20 統合失調症	1	25	12		38
F2 (上記以外の疾患)			1		1
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		4	5		9
F32 うつ病エピソード		6	5		11
F33 反復性うつ病性障害					
F3 (上記以外の疾患)					
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害		1	1		2
F42 強迫性障害					
F43 重度ストレス反応及び適応障害			1		1
F44 解離性(転換性)障害		4			4
F45 身体表現性障害		2			2
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害					
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害					
F7 精神遅滞		4			4
F84 広汎性発達障害		2			2
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害		1	1		2
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん		1			1
その他		5	1		6
合 計	1	90	31		122
構成比%	0.8	73.8	25.4		100.0

2024年度

(単位：人)

病 名	措置入院	医療保護 入 院	任 意 入 院	その他	合 計
F00 アルツハイマー型認知症		22			22
F01 血管性認知症		2			2
F02 その他の疾患による認知症		1			1
F05 せん妄		3		1	4
F0 (上記以外の疾患)		5	1		6
F10 アルコール使用による障害	1	1			2
F1 (上記以外の疾患)					
F20 統合失調症		15	14		29
F2 (上記以外の疾患)		6			6
F30 躁病エピソード					
F31 双極性感情障害		3	2		5
F32 うつ病エピソード		1	4		5
F33 反復性うつ病性障害			1		1
F3 (上記以外の疾患)					
F40 恐怖性不安障害					
F41 他の不安障害			1		1
F42 強迫性障害			1		1
F43 重度ストレス反応及び適応障害			1		1
F44 解離性（転換性）障害					
F45 身体表現性障害					
F4 (上記以外の疾患)					
F50 摂食障害					
F51 非器質性睡眠障害					
F5 (上記以外の疾患)					
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害					
F7 精神遅滞		3			3
F84 広汎性発達障害					
F8 (上記以外の疾患)					
F90 多動性障害					
F9 (上記以外の疾患)					
G40 てんかん					
その他		3			3
合 計	1	65	25	1	92
構成比%	1.1	70.7	27.2	1.1	100.0

2－2 新入院患者の入院形態別人数と構成割合の年次推移

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
措置入院	1	0.6	1	0.7			1	0.8	1	1.1
医療保護入院	116	69.5	95	67.9	103	78.0	90	73.8	65	70.7
任意入院	50	29.9	44	31.4	28	21.2	31	25.4	25	27.2
その他					1	0.7			1	1.0
合 計	167	100	140	100	132	100	122	100	92	100

3-1 新入院患者の病名別・年齢構成

2020年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全							体	
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症						1	27	28	16.8
F01 血管性認知症							7	7	4.2
F02 その他の疾患による認知症									
F05 せん妄							11	11	6.6
F0 (上記以外の疾患)			1			2	12	15	9.0
F10 アルコール使用による障害					2	2	2	6	3.6
F1 (上記以外の疾患)				1				1	0.6
F20 統合失調症			4	14	9	8	7	42	25.1
F2 (上記以外の疾患)			1	1		2	3	7	4.2
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害		1		2	2		3	8	4.8
F32 うつ病エピソード			1	3	1	3	3	11	6.6
F33 反復性うつ病性障害									
F3 (上記以外の疾患)									
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害		1		1		1	1	4	2.4
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び適応障害							3	3	1.8
F44 解離性（転換性）障害		1						1	0.6
F45 身体表現性障害						1	4	5	3.0
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害	1							1	0.6
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害									
F7 精神遅滞		3	2	1	1			7	4.2
F84 広汎性発達障害									
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん									
その他			1		1		8	10	6.0
合 計	1	6	10	23	16	20	91	167	100.0
構成比%	0.6	3.6	6.0	13.8	9.6	12.0	54.5	100.0	

2021年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体								
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症						1	17	18	12.9
F01 血管性認知症						1	6	7	5.0
F02 その他の疾患による認知症									
F05 せん妄							4	4	2.9
F0 (上記以外の疾患)	1			1		2	11	15	10.7
F10 アルコール使用による障害					2	3	1	6	4.3
F1 (上記以外の疾患)									
F20 統合失調症		1	6	5	12	12	5	41	29.3
F2 (上記以外の疾患)					2	1		3	2.1
F30 躁病エピソード				1				1	0.7
F31 双極性感情障害		1					5	6	4.3
F32 うつ病エピソード		1			2	3	3	9	6.4
F33 反復性うつ病性障害									
F3 (上記以外の疾患)							1	1	0.7
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害			1				2	3	2.1
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び適応障害				1	1			2	1.4
F44 解離性（転換性）障害		1						1	0.7
F45 身体表現性障害							2	2	1.4
F4 (上記以外の疾患)		1		1				2	1.4
F50 摂食障害							1	1	0.7
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害									
F7 精神遅滞	1							1	0.7
F84 広汎性発達障害	1			1				2	1.4
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害			1					1	0.7
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん									
その他			1		3		10	14	10.0
合 計	3	5	9	10	22	23	68	140	100.0
構成比%	2.1	3.6	6.4	7.1	15.7	16.4	48.6	100.0	

2022年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体								
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症						2	16	18	13.6
F01 血管性認知症					1	1	2	4	3.0
F02 その他の疾患による認知症									
F05 せん妄				2			3	5	3.8
F0 (上記以外の疾患)				1	1		15	17	12.9
F10 アルコール使用による障害					1			1	0.8
F1 (上記以外の疾患)									
F20 統合失調症		2	3	8	9	13	5	40	30.3
F2 (上記以外の疾患)	1			2			1	4	3.0
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害	1	2	1		1	1		6	4.5
F32 うつ病エピソード				3	1	3	5	12	9.1
F33 反復性うつ病性障害							1	1	0.8
F3 (上記以外の疾患)									
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害			1		1	1	1	4	3.0
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び適応障害			1					1	0.8
F44 解離性（転換性）障害		2			1			3	2.3
F45 身体表現性障害						2	2	4	3.0
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害				1		1		2	1.5
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害									
F7 精神遅滞	1					1		2	1.5
F84 広汎性発達障害									
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害			1					1	0.8
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん		1	1					2	1.5
その他							5	5	3.8
合 計	3	7	8	17	16	25	56	132	100.0
構成比%	2.3	5.3	6.1	12.9	12.1	18.9	42.4	100.0	

2023年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体								
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症						1	17	18	14.8
F01 血管性認知症						2	1	3	2.5
F02 その他の疾患による認知症						1	1	2	1.6
F05 せん妄						1	2	3	2.5
F0 (上記以外の疾患)					1		5	6	4.9
F10 アルコール使用による障害				1	3	1	1	6	4.9
F1 (上記以外の疾患)			1					1	0.8
F20 統合失調症		3	1	9	7	14	4	38	31.1
F2 (上記以外の疾患)						1		1	0.8
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害	1		2	1	2	1	2	9	7.4
F32 うつ病エピソード	1	4		1	2	1	2	11	9.0
F33 反復性うつ病性障害									
F3 (上記以外の疾患)									
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害						1	1	2	1.6
F42 強迫性障害									
F43 重度ストレス反応及び適応障害				1				1	0.8
F44 解離性（転換性）障害		1			1	2		4	3.3
F45 身体表現性障害							2	2	1.6
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害									
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害									
F7 精神遅滞			3		1			4	3.3
F84 広汎性発達障害	1	1						2	1.6
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害	2							2	1.6
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん				1				1	0.8
その他						2	4	6	4.9
合 計	5	9	7	14	17	28	42	122	100.0
構成比%	4.1	7.4	5.7	11.5	13.9	23.0	34.4	100.0	

2024年度

(単位：人)

病 名 (ICD-10)	全 体								
	～19 才	20～ 29才	30～ 39才	40～ 49才	50～ 59才	60～ 69才	70才 ～	合計	占有率 (%)
F00 アルツハイマー型認知症						1	21	22	23.9
F01 血管性認知症							2	2	2.2
F02 その他の疾患による認知症							1	1	1.1
F05 せん妄					2	2		4	4.3
F0 (上記以外の疾患)					1	1	4	6	6.5
F10 アルコール使用による障害					1		1	2	2.2
F1 (上記以外の疾患)									
F20 統合失調症		2	3	5	10	6	3	29	31.5
F2 (上記以外の疾患)		2			2	1	1	6	6.5
F30 躁病エピソード									
F31 双極性感情障害			2		1	2		5	5.4
F32 うつ病エピソード						1	4	5	5.4
F33 反復性うつ病性障害							1	1	1.1
F3 (上記以外の疾患)									
F40 恐怖性不安障害									
F41 他の不安障害							1	1	1.1
F42 強迫性障害					1			1	1.1
F43 重度ストレス反応及び適応障害				1				1	1.1
F44 解離性（転換性）障害									
F45 身体表現性障害									
F4 (上記以外の疾患)									
F50 摂食障害									
F51 非器質性睡眠障害									
F5 (上記以外の疾患)									
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害									
F7 精神遅滞		3						3	3.3
F84 広汎性発達障害									
F8 (上記以外の疾患)									
F90 多動性障害									
F9 (上記以外の疾患)									
G40 てんかん									
その他							3	3	3.3
合 計		7	5	6	18	14	42	92	100.0
構成比%		7.6	5.4	6.5	19.6	15.2	45.7	100.0	

3-2 新入院患者の病名別人数と構成割合の年次推移

病 名 (ICD-10)	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
F00 アルツハイマー型認知症	28	16.8	18	12.9	18	13.6	18	14.8	22	23.9
F01 血管性認知症	7	4.2	7	5.0	4	3.0	3	2.5	2	2.2
F02 その他の疾患による認知症							2	1.6	1	1.1
F05 せん妄	11	6.6	4	2.9	5	3.8	3	2.5	4	4.3
F0 (上記以外の疾患)	15	9.0	15	10.7	17	12.9	6	4.9	6	6.5
F10 アルコール使用による障害	6	3.6	6	4.3	1	0.8	6	4.9	2	2.2
F1 (上記以外の疾患)	1	0.6					1	0.8		
F20 統合失調症	42	25.1	41	29.3	40	30.3	38	31.1	29	31.5
F2 (上記以外の疾患)	7	4.2	3	2.1	4	3.0	1	0.8	6	6.5
F30 躁病エピソード			1	0.7						
F31 双極性感情障害	8	4.8	6	4.3	6	4.5	9	7.4	5	5.4
F32 うつ病エピソード	11	6.6	9	6.4	12	9.1	11	9.0	5	5.4
F33 反復性うつ病性障害					1	0.8			1	1.1
F3 (上記以外の疾患)			1	0.7						
F40 恐怖性不安障害										
F41 他の不安障害	4	2.4	3	2.1	4	3.0	2	1.6	1	1.1
F42 強迫性障害									1	1.1
F43 重度ストレス反応及び適応障害	3	1.8	2	1.4	1	0.8	1	0.8	1	1.1
F44 解離性（転換性）障害	1	0.6	1	0.7	3	2.3	4	3.3		
F45 身体表現性障害	5	3.0	2	1.4	4	3.0	2	1.6		
F4 (上記以外の疾患)			2	1.4						
F50 摂食障害	1	0.6	1	0.7	2	1.5				
F51 非器質性睡眠障害										
F5 (上記以外の疾患)										
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害										
F7 精神遅滞	7	4.2	1	0.7	2	1.5	4	3.3	3	3.3
F84 広汎性発達障害			2	1.4			2	1.6		
F8 (上記以外の疾患)										
F90 多動性障害			1	0.7	1	0.8	2	1.6		
F9 (上記以外の疾患)										
G40 てんかん					2	1.5	1	0.8		
その他	10	6.0	14	10.0	5	3.8	6	4.9	3	3.3
合 計	167	100	140	100	132	100	122	100	92	100

4 新入院患者の年齢階層別人数及び割合の年次推移

年度	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
年齢階層	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
～ 19才	1	0.6	3	2.1	3	2.3	5	4.1	0	0.0
20才～29才	6	3.6	5	3.6	7	5.3	9	7.4	7	7.6
30才～39才	10	6.0	9	6.4	8	6.1	7	5.7	5	5.4
40才～49才	23	13.8	10	7.1	17	12.9	14	11.5	6	6.5
50才～59才	16	9.6	22	15.7	16	12.1	17	13.9	18	19.6
60才～69才	20	12.0	23	16.4	25	18.9	28	23.0	14	15.2
70才～	91	54.5	68	48.6	56	42.4	42	34.4	42	45.7
合 計	167	100.0	140	100.0	132	100.0	122	100.0	92	100.0

5 入院患者の在院期間別人数及び割合（3月31日現在）

	2020年度 (R3. 3. 31現在)	2021年度 (R4. 3. 31現在)	2022年度 (R5. 3. 31現在)	2023年度 (R6. 3. 31現在)	2024年度 (R7. 3. 31現在)
1ヶ月未満	15	10	12	4	5
(%)	23.1	17.2	28.6	13.8	17.2
1ヶ月～3ヶ月未満	10	6	7	5	6
(%)	15.4	10.3	16.7	17.2	20.7
3ヶ月～6ヶ月未満	13	7	6	7	5
(%)	20.0	12.1	14.3	24.1	17.2
6ヶ月～1年未満	11	8	2	3	2
(%)	16.9	13.8	4.8	10.3	6.9
1年～5年未満	10	18	8	6	7
(%)	15.4	31.0	19.0	20.7	24.1
5年～10年未満	3	6	5	2	2
(%)	4.6	10.3	11.9	6.9	6.9
10年～20年未満	1	1	0	0	0
(%)	1.5	1.7	0.0	0.0	0.0
20年以上	2	2	2	2	2
(%)	3.1	3.4	4.8	6.9	6.9
合 計	65	58	42	29	29
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

1年未満	49	31	27	19	18
(%)	75.4	53.4	64.3	65.5	62.1
1年以上	16	27	15	10	11
(%)	24.6	46.6	35.7	34.5	37.9

(再掲) 5年以上	6	9	7	4	4
(%)	9.2	15.5	16.7	13.8	13.8

6-1 退院患者の退院先別入院期間別人数及び割合

2020年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活					1			1	0.7
家族と同居	32	22	15	7	1			77	50.7
老人施設等	5	4	1	1	2			13	8.6
転院	10	12	4	10	2	1		39	25.7
共同住居	2	6	2	5				15	9.9
死亡		3	2		1	1		7	4.6
警察									0.0
その他									0.0
計	49	47	24	23	7	2		152	100.0
(%)	32.2	30.9	15.8	15.1	4.6	1.3	0.0	100.0	

2021年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活									0.0
家族と同居	35	36	11	4	1			87	59.2
老人施設等	1	3	2	1				7	4.8
転院	4	9	4	3	1			21	14.3
共同住居	4	11	7	3	3			28	19.0
死亡	1		1	2				4	2.7
警察									0.0
その他									0.0
計	45	59	25	13	5			147	100.0
(%)	30.6	40.1	17.0	8.8	3.4	0.0	0.0	100.0	

2022年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活	1	4	1				1	7	4.7
家族と同居	26	39	7		1			73	49.3
老人施設等	2	5	3	1	6	1	1	19	12.8
転院	6	5	4	1	2		2	20	13.5
共同住居	3	9	5	6	1			24	16.2
死亡	1		1	1	1	1		5	3.4
警察									0.0
その他									0.0
計	39	62	21	9	11	2	4	148	100.0
(%)	26.4	41.9	14.2	6.1	7.4	1.4	2.7	100.0	

2023年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活	5	4	4	1				14	10.4
家族と同居	21	22	11	1				55	40.7
老人施設等	8	7	6	2	2			25	18.5
転院	9	5	6		2		2	24	17.8
共同住居	1	5	2	1	2		1	12	8.9
死亡	1	1	2					4	3.0
警察									0.0
その他	1							1	0.7
計	46	44	31	5	6		3	135	100.0
(%)	34.1	32.6	23.0	3.7	4.4	0.0	2.2	100.0	

2024年度

入院期間 区分	1月 未満	1月 ～3月	3月 ～6月	6月 ～1年	1年 ～3年	3年 ～5年	5年 以上	計	構成比 (%)
単身生活	5	4						9	9.8
家族と同居	9	13	5	1				28	30.4
老人施設等	2	6	5	4	1			18	19.6
転院	4	2	6	4	2	1		19	20.7
共同住居	2	9	4	1				16	17.4
死亡					1			1	1.1
警察									0.0
その他	1							1	1.1
計	23	34	20	10	4	1		92	100.0
(%)	25.0	37.0	21.7	10.9	4.3	1.1	0.0	100.0	

6-2 退院患者の退院先別人数と構成割合の年次推移

年度 区分	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
単身生活	1	0.7	0	0.0	7	4.7	14	10.4	9	9.8
家族と同居	77	50.7	87	59.2	73	49.3	55	40.7	28	30.4
老人施設等	13	8.6	7	4.8	19	12.8	25	18.5	18	19.6
転院	39	25.7	21	14.3	20	13.5	24	17.8	19	20.7
共同住居	15	9.9	28	19.0	24	16.2	12	8.9	16	17.4
死亡	7	4.6	4	2.7	5	3.4	4	3.0	1	1.1
警察	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.7	1	1.1
計	152	100.0	147	100.0	148	100.0	135	100.0	92	100.0

7 入院患者の居住地域別人数及び割合

		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
		患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)
北網圏	網走市	442	50.4	471	53.1	346	48.8	261	44.5	232	46.4
	北見市	31	3.5	41	4.6	49	6.9	49	8.3	55	11.0
	大空町	40	4.6	69	7.8	63	8.9	42	7.2	60	12.0
	美幌町	69	7.9	76	8.6	28	3.9	46	7.8	14	2.8
	津別町	3	0.3	11	1.2	1	0.1	6	1.0	5	1.0
	斜里町	74	8.4	64	7.2	66	9.3	85	14.5	56	11.2
	清里町	54	6.2	40	4.5	41	5.8	33	5.6	31	6.2
	小清水町	59	6.7	42	4.7	21	3.0	2	0.3	24	4.8
	訓子府町										
	置戸町	3	0.3	1	0.1	7	1.0	2	0.3		
遠紋圏	紋別市	31	3.5	32	3.6	27	3.8	8	1.4	2	0.4
	佐呂間町					1	0.1	2	0.3		
	遠軽町	31	3.5	19	2.1	26	3.7	22	3.7	12	2.4
	湧別町	3	0.3	3	0.3	2	0.3	2	0.3		
	滝上町	12	1.4	11	1.2	6	0.8	6	1.0		
	興部町	2	0.2			2	0.3				
	西興部村					2	0.3				
	雄武町	8	0.9								
その他	他道内	6	0.7	6	0.7	16	2.3	20	3.4	7	1.4
	道外	9	1.0	1	0.1	5	0.7	1	0.2	2	0.4
	その他										
合 計		877	100	887	100	709	100	587	100	500	100

8 入院患者の経路別人数及び割合

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
本人自らの希望	61	30	7	13	9
(%)	22.9	17.0	5.3	10.7	9.8
家族・同僚等が同伴	91	73	76	56	49
(%)	34.2	41.5	57.6	45.9	53.3
保健所・福祉事務所の紹介	9	6	6	2	4
(%)	3.4	3.4	4.5	1.6	4.3
他の精神科病院等の紹介	0	0	1	1	1
(%)	0.0	0.0	0.8	0.8	1.1
精神科以外の病院等の紹介	53	22	23	27	12
(%)	19.9	12.5	17.4	22.1	13.0
警察・消防署等の紹介	1	6	13	12	14
(%)	0.4	3.4	9.8	9.8	15.2
その他	51	39	6	11	3
(%)	19.2	22.2	4.5	9.0	3.3
計	266	176	132	122	92
(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

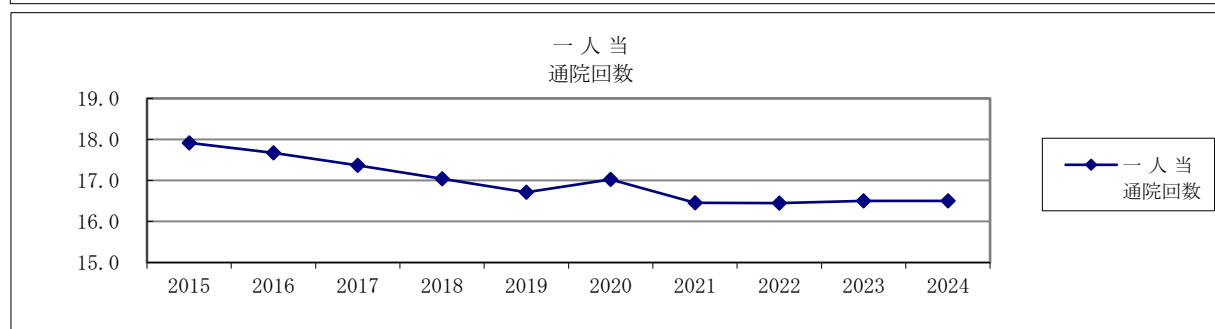
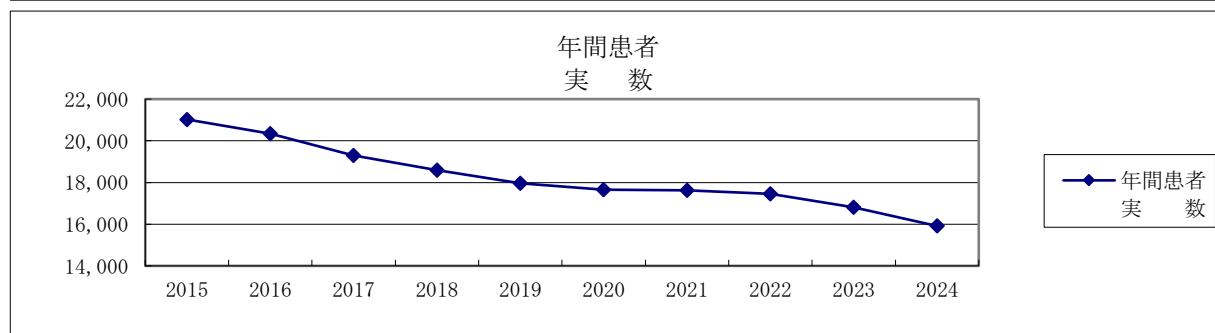
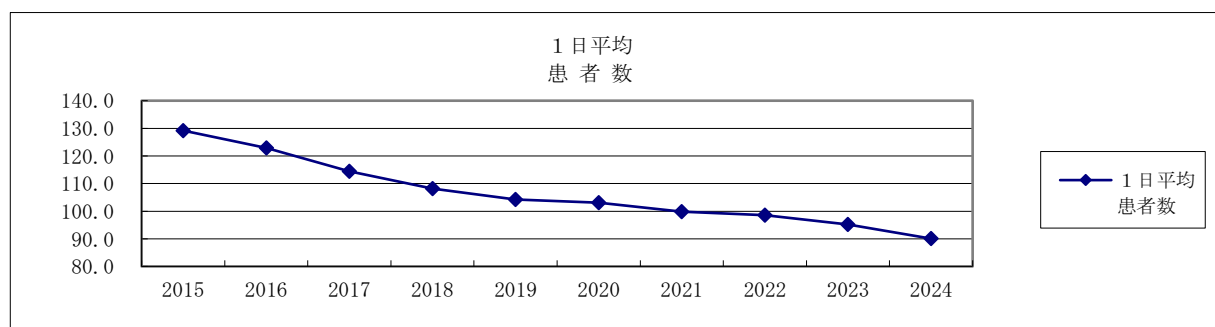
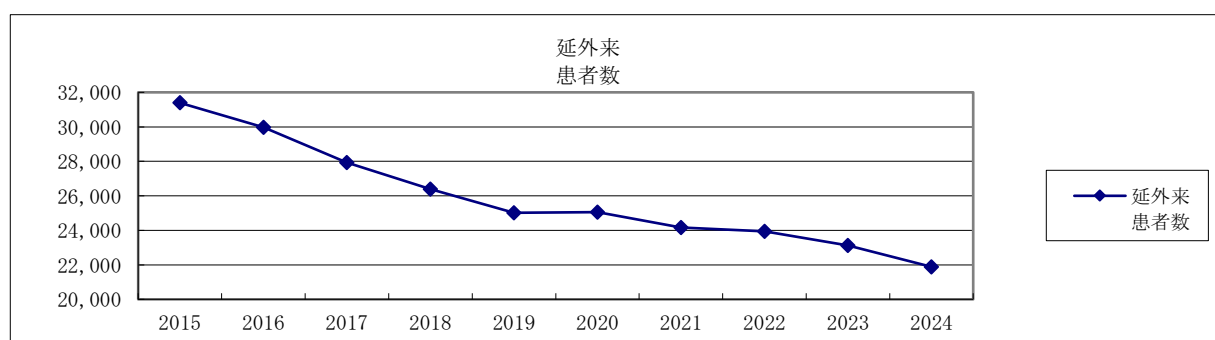
9-1 外来患者数の推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
延べ外来患者数	25,047	24,170	23,935	23,133	21,885
年間実患者数	17,651	17,626	17,462	16,818	15,913
新規外来患者数	645	714	648	616	558
1日平均患者数	103.1	99.9	98.5	95.2	90.1
休日診療患者数	1	5	6	6	2
時間外診療患者数	13	6	8	4	4
深夜診療患者数	7	4	0	2	0

9-2 外来患者数の推移（2015年度～2024年度）

（単位：人）

区分	延外来患者数	新外来患者数	1日平均患者数	年間患者実数	一人当通院回数
2015	31,392	819	129.2	21,024	17.9
2016	29,972	685	122.8	20,347	17.7
2017	27,931	610	114.5	19,298	17.4
2018	26,390	595	108.2	18,586	17.0
2019	25,019	626	104.2	17,960	16.7
2020	25,047	645	103.1	17,651	17.0
2021	24,170	714	99.9	17,626	16.5
2022	23,935	648	98.5	17,462	16.4
2023	23,133	616	95.2	16,818	16.5
2024	21,885	558	90.1	15,913	16.5



10 初診外来患者の病名別分類

病名 (ICD-10)	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
F 0	125	19.4	139	19.5	115	17.7	108	17.5	84	15.1
F 1	12	1.9	7	1.0	11	1.7	12	1.9	4	0.7
F 2	29	4.5	24	3.4	17	2.6	18	2.9	22	3.9
F 3	83	12.9	70	9.8	80	12.3	63	10.2	68	12.2
F 4	185	28.7	245	34.3	221	34.1	213	34.6	207	37.1
F 5	6	0.9	9	1.3	13	2.0	16	2.6	13	2.3
F 6	4	0.6	3	0.4	5	0.8	4	0.6	5	0.9
F 7	49	7.6	75	10.5	45	6.9	46	7.5	33	5.9
F 8	33	5.1	34	4.8	32	4.9	24	3.9	38	6.8
F 9	19	2.9	18	2.5	22	3.4	20	3.2	21	3.8
G	53	8.2	43	6.0	48	7.4	27	4.4	25	4.5
その他	47	7.3	47	6.6	39	6.0	65	10.6	38	6.8
合 計	645	100.0	714	100.0	648	100.0	616	100.0	558	100.0

F0 : 症状性を含む器質性精神障害

F1 : 精神作用物質使用による精神及び行動の障害

F2 : 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害

F3 : 気分（感情）障害

F4 : 神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害

F5 : 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群

F6 : 成人の人格及び行動の障害

F7 : 知的障害（精神遅滞）

F8 : 心理的発達の障害

F9 : 小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

G : 神経系の疾患

その他 : 精神によらない内科的、外科的疾患

1 1 外来患者の居住地域別人数及び割合

		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
		患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)	患者数	(%)
北網圏	網走市	9,755	55.3	9,801	55.6	9,636	55.2	9,215	54.8	8,733	54.9
	北見市	1,234	7.0	1,109	6.3	1,108	6.3	1,060	6.3	905	5.7
	大空町	1,019	5.8	1,055	6.0	1,050	6.0	1,002	6.0	906	5.7
	美幌町	1,224	6.9	1,202	6.8	1,137	6.5	976	5.8	969	6.1
	津別町	206	1.2	237	1.3	211	1.2	188	1.1	210	1.3
	斜里町	2,204	12.5	2,236	12.7	2,229	12.8	2,282	13.6	2,248	14.1
	清里町	574	3.3	563	3.2	585	3.4	600	3.6	576	3.6
	小清水町	794	4.5	799	4.5	835	4.8	755	4.5	704	4.4
	訓子府町	22	0.1	18	0.1	18	0.1	8	0.0	11	0.1
	置戸町	11	0.1	8	0.0	7	0.0	14	0.1	8	0.1
遠紋圏	紋別市	85	0.5	75	0.4	100	0.6	126	0.7	124	0.8
	佐呂間町	72	0.4	58	0.3	51	0.3	56	0.3	58	0.4
	遠軽町	78	0.4	86	0.5	93	0.5	65	0.4	82	0.5
	湧別町	80	0.5	70	0.4	82	0.5	75	0.4	67	0.4
	滝上町	26	0.1	20	0.1	11	0.1	14	0.1	22	0.1
	興部町	29	0.2	16	0.1	19	0.1	17	0.1	10	0.1
	西興部村	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
	雄武町	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	他道内	215	1.2	255	1.4	257	1.5	340	2.0	248	1.6
	道外	23	0.1	18	0.1	32	0.2	25	0.1	32	0.2
	その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計		17,651	100	17,626	100	17,462	100	16,818	100	15,913	100

1 2 診療時間以外の外来診療件数内訳

			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
初診		時間外	5	2	2	3	4
		休 日		3	2	3	2
		深 夜	3	2			
		計	8	7	4	6	6
再診	再診	時間外	8	3	6	1	4
		休 日	1	2	4	3	1
		深 夜	4	2		2	
		計	13	7	10	6	5
	電話再診	時間外		1			
		休 日					
		深 夜					
		計		1			
	計	時間外	8	4	6	1	4
		休 日	1	2	4	3	1
		深 夜	4	2		2	
		計	13	8	10	6	5
合計		時間外	13	6	8	4	8
		休 日	1	5	6	6	3
		深 夜	7	4		2	
		計	21	15	14	12	11

1 3 - 1 精神科救急医療システム実績

年 度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
(システム実施日数)	(177)	(182)	(182)	(182)	(182)
システム取扱件数	379	342	302	194	201
電 話 相 談	369	322	280	171	177
外 来	5	4	7	10	7
入 院	5	16	15	13	17

1 3 - 2 救急車による患者搬入件数の年次推移

年 度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総 数	17	12	16	15	10
時 間 外	11	6	10	12	7

第4 経営概況

1 決算状況

(単位：千円、%)

款 項 目	2022年度	2023年度	2024年度	22年度対比	23年度対比
	A	B	C	C/A	C/B
病 院 事 業 収 益	621,242	568,899	587,747	94.6	103.3
医 業 収 益	509,910	447,921	424,269	83.2	94.7
うち入院収益	282,864	236,020	220,162	77.8	93.2
うち外来収益	215,744	203,078	195,009	90.3	96.0
うちその他医業収益	11,302	8,823	9,098	80.4	103.1
医 業 外 収 益	110,519	120,731	102,749	92.9	85.1
特 別 利 益	813	247	60,729	7,469.7	24,586.6
病 院 事 業 費 用	1,466,580	1,491,085	1,546,520	105.4	103.7
医 業 費 用	1,415,053	1,441,508	1,461,459	103.2	101.3
給 与 費	808,413	828,501	836,640	103.4	100.9
うち退職給与金	39,426	72,628	82,912	210.2	114.1
材 料 費	69,383	69,679	65,478	94.3	93.9
うち医薬材料費	66,355	67,756	62,049	93.5	91.5
経 費	359,335	355,043	396,174	110.2	111.5
うち旅費	2,273	2,089	4,996	219.7	239.1
うち需用費	62,948	57,228	54,184	86.0	94.6
うち修繕費	5,340	5,411	21,314	399.1	393.9
うち委託料	260,266	259,328	230,874	88.7	89.0
うち使用料賃借料	18,297	20,879	73,267	400.4	350.9
うち役務費	7,306	7,585	9,336	127.7	123.0
減 価 償 却 費	174,376	174,234	159,779	91.6	91.7
資 産 減 耗 費	493	10,641	1,221	247.6	11.4
研 究 研 修 費	3,053	3,410	2,167	70.9	63.5
医 業 外 費 用	50,747	49,052	46,954	92.5	95.7
特 別 損 失	780	525	38,107	4,885.5	7,258.4
損 益	-845,338	-922,186	-958,773	113.4	103.9
外来収益/医業収益(%)	42.3	45.3	46.0	108.6	101.3
医業費用/医業収益(%)	287.6	332.9	364.5	126.7	109.4
給与費 / 医業収益(%)	158.5	185.0	197.2	124.3	106.6
医業収益 - 医業費用	-905,143	-993,587	-1,037,190	114.5	104.3

2 経営分析調

区 分 項 目	算 出 基 礎	2022年度	2023年度	2024年度
病 床 利 用 率 (%)	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延許可病床数}} \times 100$	45.6	36.9	33.0
入 院 外 来 患 者 比 率 (%)	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	137.1	163.1	173.0
患 者 1 人 1 日 当 た り 入院収益 (円)	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	16,202	16,646	17,401
患 者 1 人 1 日 当 た り 外来収益 (円)	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年延外来患者数}}$	9,014	8,779	8,911
患 者 1 人 1 日 当 た り 収 益 (円)	$\frac{\text{入 院 ・ 外 来 収 益}}{\text{年延入院外来患者数}}$	12,045	11,768	12,021
投 薬 使 用 効 率 (%)	$\frac{\text{投 薬 収 入}}{\text{投 薬 薬 品 費}} \times 100$	122.6	122.4	123.2
注 射 薬 使 用 効 率 (%)	$\frac{\text{注 射 収 入}}{\text{注 射 薬 品 費}} \times 100$	119.1	117.4	114.0
職 員 給 与 費 率 (%)	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	158.5	185.0	197.2
材 料 費 率 (%)	$\frac{\text{材 料 費}}{\text{医 業 収 益}} \times 100$	13.6	15.6	15.4
経 常 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{経 常 収 益}}{\text{経 常 費 用}} \times 100$	42.4	38.2	38.1
医 業 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}} \times 100$	36.0	31.1	29.1

3 診療行為別件数

年 度 区 分		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
初 診		692	760	648	616	558
投 薬	入 院	105,122	109,960	80,385	66,573	53,925
	外 来	12,443	15,568	14,911	16,378	16,118
	合 計	117,565	125,528	95,296	82,951	70,043
画 像 診 断	入 院	16,272	11,939	6,689	14,776	21,180
	外 来	22,843	20,905	27,737	25,417	24,855
	合 計	39,115	32,844	34,426	40,193	46,035
検 査	入 院	38,127	32,894	24,453	24,016	21,019
	外 来	50,006	42,606	55,584	47,044	46,090
	合 計	88,133	75,500	80,037	71,060	67,109
特別食（単位：食）		10,640	10,592	7,489	6,330	4,832
訪 問 看 護		3,195	2,866	2,671	2,433	2,261
往 診		0	0	0	0	0
作 業 療 法		4,809	4,766	3,572	2,503	2,281
薬 剤 管 理 指 導		0	49	216	157	95
デ イ ケ ア		5,842	4,995	5,041	5,113	5,027

*薬剤管理指導は、2021年11月から実施

4 病床１００床当たり職員数

年 度 職種等	2020 年 度	2021 年 度	2022 年 度	2023 年 度	2024 年 度
病 床 数	105	105	105	105	105
医 師	4.9	4.9	4.9	5.1	5.1
看 護 部 門	45.7	45.7	43.8	41.9	42.4
薬 剤 部 門	1.7	2.6	2.6	2.6	2.6
栄 養 部 門	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
画 像 診 断 部 門	2.9	2.9	2.9	1.9	1.9
臨 床 検 査 部 門	1.9	1.9	1.9	1.9	2.9
地 域 連 携 部 門	6.7	7.6	7.6	6.7	6.7
リハビリテー ション 部 門	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
心 理 判 定 部 門	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
認知症疾患医療 センター 部 門	1.9	1.0	1.9	1.9	1.9
事 務 部 門	8.6	9.3	9.3	8.6	9.3
合 計	81.1	82.5	81.5	77.2	79.4

1 職員数には、委嘱医、非常勤職員、会計年度職員を含み、委嘱医、非常勤職員は常勤換算し算出

2 看護部門には、看護助手を含む

3 職員数＝年度末職員数／年度末病床数×１００

5 医薬材料使用効率調

(単位：円、%)

年 度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
区 分						
投 薬	費用 a	19,373,352	18,609,554	14,164,102	11,614,025	10,494,659
	収益 b	23,868,455	23,792,820	17,371,243	14,215,364	12,939,169
	率 b/a	123.2	127.9	122.6	122.4	123.3
注 射 薬 品	費用 a	38,743,015	34,773,159	31,172,117	32,341,556	31,007,684
	収益 b	45,864,705	42,666,970	37,095,280	37,973,728	36,130,243
	率 b/a	118.4	122.7	119.0	117.4	116.5
計	費用 a	58,116,367	53,382,713	45,336,219	43,955,581	41,502,343
	収益 b	69,733,160	66,459,790	54,466,523	52,189,092	49,069,412
	率 b/a	120.0	124.5	120.1	118.7	118.2
その他医薬材料	費用 a	18,258,352	19,491,729	16,737,329	19,510,016	16,582,305
	収益 b	192,168,733	178,747,810	172,079,545	162,795,175	153,223,926
	率 b/a	1,052.5	917.0	1,028.1	834.4	924.0
合 計	費用 a	76,374,719	72,874,442	62,073,548	63,465,597	58,084,648
	収益 b	261,901,893	245,207,600	226,546,068	214,984,267	202,293,338
	率 b/a	342.9	336.5	365.0	338.7	348.3

※ 「その他医薬材料」とは、検査、X線、処置、手術、精神科専門療法に係るものの合計である。

6 給食収益に対する材料費調

(単位：円、%)

年 度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
区 分						
(うち用具費分)		(380,721)	(182,522)	(138,831)	(138,919)	(169,834)
費 用 A		20,238,573	22,328,633	19,278,213	18,213,313	16,563,119
収 益 B		36,325,795	43,121,742	33,236,159	27,413,025	25,183,782
率 A/B		55.7	51.8	58.0	66.4	65.8
(うち用具費分)		(17)	(8)	(8)	(10)	(13)
1人1日当たり費用		915	985	1,104	1,285	1,309

第5 地域支援活動

1 診療支援

J A北海道厚生連網走厚生病院には精神科の専門医が配置されていないが、入院患者の中には主疾病とは別に精神的な治療を必要とする患者もいる。

網走市内で精神科専門医を擁しているのは当院のみであり、公的医療機関として地域の医療機関への補完的応援を行い、地域医療の確保に努める必要があることから、当該病院に対し診療支援を行っている。

2 地域の保健、予防活動

地域の保健、予防活動の普及、促進等のため、関係機関への協力、支援を行っている。

機 関 名	内 容
北海道森林管理局	心の健康づくり相談員
北海道保健福祉部	精神科病院実地審査委員
北海道教育委員会	心の健康相談員
北海道オホーツク総合振興局	精神保健医
	生活保護法による委嘱医
	精神保健相談事業
	思春期相談事業
北海道網走養護学校	学校医
道立心身障害者総合相談所	一般巡回相談相談医
網走市	福祉事務所嘱託医(生活保護・特別障害者手当・子供発達支援センター業務)
	老人ホーム入所判定会議委員
	教育支援委員会委員
網走市外3町障害支援区分認定審査会	委員
網走市外3町介護認定審査会	委員
J A北海道厚生連網走厚生病院	委嘱医師
網走地方精神保健協会	会長ほか役員、事務局員

3 講演

地方公共団体や各種団体からの依頼を受け、地域の保健活動の普及、促進等のため、講演を行っている。

年月日	講演者	演 題	主 催
R6.5.31	藤井 泰	メンタルヘルスセミナー 講演 「職場のメンタルヘルス対策とラインケアについて」	北海道オホーツク 総合振興局

4 自助グループへの支援

A・A（アルコールの自助グループ）活動の支援

アルコール依存症の治療は、薬物や精神療法には限界があり、仲間同士の体験や知恵から、断酒を自らを選び取る自助グループの存在は欠くことができないものであり、病院の近くに参加できるグループの存在は大きい。

2024年度、市内では、網走グループが、毎週月曜日の18時45分から20時まで、当院相談室を使用してミーティング活動を行った。

グループへの支援は、外来看護師が窓口を担当し、ミーティング開催に向けて、入院、通院中の関係患者に参加を促した。

5 網走保健所、市町村等との連携

(1) サポート会議

精神障がい者が円滑な地域生活ができるよう、関係者が情報交換を行い、連携の強化を図るため、月1回、地域の保健福祉担当者とケース検討を行っている。

年度別のケース検討件数は、次表のとおりである。

年度別ケース検討事例数													(単位：件)
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	6	8	8	6	6	7	5	7	10	3	4	－	73
2020年度	6	7	9	10	6	9	6	6	6	9	5	11	90
2021年度	7	5	6	3	4	8	8	9	9	5	5	5	74
2022年度	2	4	7	6	4	8	11	9	5	9	7	9	81
2023年度	9	13	12	6	7	10	5	5	8	4	7	5	91
2024年度	5	7	6	8	7	5	6	6	8	5	6	7	76

(2) ヘルパー会議

市役所保健福祉課・保健センター職員、ホームヘルパーと精神障がい者や認知症高齢者の在宅支援などのケース検討等を隔月に1回、計105件実施している。

また、必要に応じ訪問看護ステーションなどと連携している。

(3) 心の健康相談

地域、職場などの各ライフステージにおいて精神的な不健康、不適応状態にある者の相談援助を行い、健康状態の回復を目指したり、精神疾患の早期発見と早期治療、更には、精神障がい者を有する者やその家族が抱えている問題の軽減を図る目的で、網走保健所が実施している事業であり、当院医師が協力している。

(4) 移動精神保健相談

町内に精神科医療機関がない住民に対し、身近な地域で容易に相談が受けられる機会を提供することを目的に保健所が実施している事業であり、当院医師が協力している。

(5) 思春期保健相談事業

中高校生等の子どもとその親を対象に医師、保健師により思春期に関する相談支援を行うこと目的に保健所が実施している事業であり、当院医師が協力している。

(6) 通院患者の主治医相談

保健所保健師が、訪問指導などのために主治医との相談を求めてきた場合、随時対応しているほか、対応困難なケースについては、事例検討会等を開催し、関係者を含めた主治医との連携を図っている。退院予定者が対象となる場合もある。

(7) 福祉サービスとの連携

生活保護受給者等について、市及び総合振興局の生活保護担当者による主治医相談が、随時、行われている。

当院の場合、疾病による生活障害のため、生活保護を受給している障がい者が比較的多く、病状が悪化したことにより、緊急に相談を受けることもある。

(8) 介護保険制度への協力

市町村からの依頼により、主治医意見書を記載している。

介護保険主治医意見書取扱件数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
件 数	186	186	195	138	127

(9) 障害者総合支援法への協力

市町村からの依頼により、主治医意見書を記載している。

障害支援区分医師意見書取扱件数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
件 数	95	105	80	97	96

第6 研修、教育・実習

1 院内研修開催状況

開催年月日	研修会等の名称・内容	参加数	備考(講師等)
2024. 4. 15	新規採用者・異動者オリエンテーション	5名	総看護師長ほか
2024. 8. 7	感染対策研修会 (院内感染対策)	34名	副総看護師長
2024. 9. 11 10. 9	医療安全研修会 (安全な採血手技と検査値への影響について)	75名	外部講師
2024. 10. 15 11. 19	行動制限研修会 身体拘束・解除の判断、身体拘束の回避方法	79名	行動制限最小化委員会
2024. 10. 25	虐待防止研修会 (精神科病院における虐待防止)	33名	副総看護師長
2024. 11. 13	医療安全研修会 (B L S)	44名	外部講師
2024. 12. 11	医療安全研修 (C V P P P) 包括的防止プログラム(CVPPP)を学ぼう	75名	医療安全管理委員会
2025. 2. 18 3. 18	行動制限研修会 2 精神保健福祉法における行動制限等について	73名	行動制限最小化委員会

2 院外研修会等参加状況

年月日	研修会等の名称	場 所	参 加 者
2024. 4. 18 ～ 4. 18	医療安全・事故防止の「3大ツール」でリスクマネジメント強化!	web	高橋 さとみ
2024. 5. 10 ～ 5. 10	2024年度看護部門のための診療報酬改定オンラインセミナー	web	能登 明美
2024. 5. 18 ～ 5. 18	2024年度精神分析基礎講座	web	木村 憲一
2024. 5. 23 ～ 5. 23	第35回国際神経精神薬理学会世界大会	東京都	藤井 泰
2024. 5. 24 ～ 5. 24	2021～2023年度 精神科薬物療法e-ラーニング	web	菱山 真広
2024. 5. 28 ～ 5. 28	看護管理のはじめの一步(第1回)研修会	web	鈴木 元樹
2024. 5. 29 ～ 5. 29	インシデント事例から適切な防止対策を導く簡単な方法	web	成瀬 智恵
2024. 6. 11 ～ 6. 11	実践に活かす摂食嚥下障害の看護	札幌市	山本 妙子
2024. 6. 11 ～ 6. 11	2023年度 精神科薬物療法e-ラーニング	web	藤井 泰
2024. 7. 1 ～ 7. 1	精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	web	鴨部 しのぶ
2024. 7. 6 ～ 7. 6	北海道精神神経学会第145回例会	旭川市	木村 憲一
2024. 7. 10 ～ 7. 10	第120回日本精神神経学会学術総会	web	菱山 真広

年月日	研修会等の名称	場 所	参 加 者
2024. 7. 13 ～ 7. 13	令和 6 年度日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会(基礎編)	web	中島 舞
2024. 7. 18 ～ 7. 18	2024年度日本不安症学会日本認知療法・認知行動療法学会	福岡市	藤井 泰
2024. 7. 20 ～ 7. 20	2024年度精神分析基礎講座(2回目)	東京都	木村 憲一
2024. 7. 22 ～ 7. 22	2024年度リハビリテーション部会オンラインセミナー vol. 1<中堅・管理職向け>	web	久野 紀子
2024. 7. 23 ～ 7. 23	フレイル予防の基本を学ぶ研修会	web	三条 幸子
2024. 7. 30 ～ 7. 30	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	web	斉藤 郁子
2024. 8. 1 ～ 8. 1	SDGsを求め進化する老年精神医学の未来；すべての人に健康と福祉を	web	平森 芳浩
2024. 8. 8 ～ 8. 8	令和 6 年度第 18 回全国認知症疾患医療センター連絡協議会	web	平森 芳浩
2024. 8. 10 ～ 8. 10	認知症高齢者ケア研修会(北網支部)	北見市	宮田 麻紀
2024. 8. 27 ～ 8. 27	看護研究のまとめ方とプレゼンテーション研修会	web	國定 美由樹
2024. 8. 31 ～ 8. 31	感染予防対策の基礎と実践	web	伊東 文枝
2024. 9. 12 ～ 9. 12	看護補助者の活用推進のための看護管理研修	web	桜井 尚子
2024. 9. 22 ～ 9. 22	第57回日本薬剤師会学術集会	web	鎌田 彩織
2024. 10. 3 ～ 10. 3	看護師長研修	札幌市	木村 裕子
2024. 10. 10 ～ 10. 10	看護職の多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇	web	目黒 嘉代子
2024. 11. 1 ～ 11. 1	主任のための組織管理入門	web	三ツ石 典子
2024. 11. 7 ～ 11. 8	令和 6 年度 地域移行エリア別研修会	旭川市	佐藤 いずみ
2024. 11. 20 ～ 11. 20	第43回日本認知症学会学術集会	郡山市	藤井 泰
2024. 11. 30 ～ 11. 30	北海道精神神経学会 第146回例会	旭川市	菱山 真広
2024. 12. 1 ～ 12. 1	北海道精神神経学会 第146回例会	旭川市	藤井 泰
2024. 12. 2 ～ 12. 2	令和 6 年度北海道立病院看護職員リーダーシップ研修講師派遣	札幌市	能登 明美
2024. 12. 3 ～ 12. 3	リーダーシップ研修	web	斉藤 郁子
2024. 12. 3 ～ 12. 3	リーダーシップ研修	web	中村 歩子

年月日	研修会等の名称	場 所	参 加 者
2024. 12. 6 ～ 12. 6	医療安全管理者養成研修	札幌市	木村 裕子
2024. 12. 6 ～ 12. 6	日本デイケア学会第29回年次大会兵庫大会	神戸市	中村 志信
2024. 12. 9 ～ 12. 13	CVPPPトレーナー研修	音更町	佐藤 美華
2025. 1. 17 ～ 1. 17	精神科特別部会看護部会オンラインセミナー	web	目黒 嘉代子
2025. 1. 17 ～ 1. 17	第25回北海道認知症疾患医療センター懇話会	web	平森 芳浩
2025. 1. 25 ～ 1. 25	第12回認知症疾患医療センター全国研修会長野大会	web	平森 芳浩
2025. 2. 14 ～ 2. 14	北海道自治体病院協議会連携部会	札幌市	佐藤 いずみ
2025. 2. 13 ～ 2. 13	精神科特別部会看護部会オンラインセミナー	web	目黒 嘉代子
2025. 3. 1 ～ 3. 1	精神科七者懇臨床研修指導医講習会	web	菱山 真広
2025. 3. 1 ～ 3. 1	精神科薬物療法研修会（eラーニング）	web	木村 憲一
2025. 3. 1 ～ 3. 1	第25回北海道認知症疾患医療センター懇話会	web	平森 芳浩
2025. 3. 14 ～ 3. 14	精神科薬物療法研修会（eラーニング）	web	木村 憲一
2025. 3. 16 ～ 3. 16	APPW2025(第130回日本解剖学会/第102回日本整理学会/第98回日本薬理学会合同大会)	千葉市	鎌田 彩織

3 教育、実習の受入

(1) 教 育

道立網走高等看護学院閉校により、講義依頼無し。

(2) 実 習

職 種	学 校 名 等	実 習 期 間	人 員
看 護	道立紋別高等看護学院	2024. 5. 27～5. 31 2024. 6. 10～6. 14 2024. 7. 22～7. 26	延 181
看 護	日本赤十字北海道看護大学	2024. 11. 5～11. 15 2024. 11. 18～11. 29	延 68
看 護	学校法人 西野学園	2024. 10. 21～10. 24 2024. 10. 8 ～10. 31 2024. 11. 6 ～11. 12	延 157
医 学 生	北海道大学医学部	2024. 10. 7～11. 1 2024. 11. 5～11. 28 2025. 1. 6～ 1. 31 2025. 2. 3～ 2. 28	延 74

(3) インターンシップ

職 種	学 校 名 等	実施期間	人数
看 護	北海道網走桂陽高等学校	2024年9月12日	2名

(4) ふれあい看護体験

職 種	学 校 名 等	実施期間	人数
看 護	北海道網走南ヶ丘高等学校	2024年5月1日	9名

第7 医療事故等の状況

1 医療事故等の公表基準

道では、近年の公立病院における医療事故に関する情報公開が急速に進展している状況を踏まえ、道立病院においても、病院運営の透明性を高め、さらに医療の安全管理体制の向上を図ることが必要との判断から、医療事故の公表に関する取扱いを定め、2006（平成18）年度発生の医療事故から適用することとした。

「道立病院における医療事故等の公表基準」の概要は、次のとおりである。

道立病院における医療事故等公表基準(概要)

(1) 目的

道立病院で発生した医療事故等を公表することにより、病院運営の透明性を高め、道民の医療に対する信頼を深めるとともに、医療における安全管理体制の向上を図ることを目的として、医療事故等の公表を行う。

(2) 医療事故等のレベル基準

レベ ル		障害の 継続性	障害の 程 度	内 容
イン シ デ ン ト	レベル0	—	な し	事故が起こりそうな環境に前もって気づいた事例、 実施される前に気づいた事例
	レベル1	—	な し	患者への実害がなかった事例 何らかの影響を与えた可能性はあったが、処置や治 療を要しなかった事例
医 療 事 故	レベル2a	一過性	軽 度	確認のための検査の必要が生じた事例 簡単な処置や治療を要した事例(湿布、鎮痛剤の投 与など)
	レベル2b	一過性	中等度	処置や治療を要した事例（皮膚の縫合など）
	レベル3	一過性	高 度	濃厚な処置や治療を要した事例(人工呼吸器の装着、 入院日数の延長、外来患者の入院など)
	レベル4	永続的	—	永続的な障害や後遺症が残った事例
	レベル5	死 亡	—	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)

(3) 公表基準

各レベルに対応するレベル基準は、次のとおりである。

区 分	レベル	過誤あり	過誤なし
インシ	レベル0	一括公表（個々の事例ごとに公表しない） ※1	
デント	レベル1		
	レベル2a		
医 療 事 故	レベル2b	概 要 公 表 （事例ごとに概要を公表する 医療機関名の公表はしない）	
	レベル3		
	レベル4	原則個別公表 ※2	
	レベル5		

※1 過誤なしについては、一括公表とするが、社会的意義が大きいと考えられるものについては、医療安全対策の観点から概要を公表する。

※2 個別公表については、患者及び家族の同意を得たうえで公表する。

なお、自殺については、患者家族に対する配慮から個別公表は行わない。

(4) 公表の方法

道立病院局のホームページで、次により公表する。

公表に際しては、北海道個人情報保護条例に基づき、十分配慮して行う。

ア 個別公表(随時)

事故の概要、原因及び今後の対策を掲載

なお、個別公表に当たっては、患者及び家族に対し、事前に十分説明を行い、同意を得ることを原則とする。

イ 概要公表及び一括公表(年2回(11月、5月))

概要公表：事故の概要、原因及び今後の対策を掲載

一括公表：件数を掲載

2 医療事故等の発生状況

2020～2024年度の医療事故等の発生件数等は、次のとおりとなっている。

(単位：件)

レベル/年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
レベル0	213	178	192	202	251
レベル1	133	131	115	123	115
レベル2a	14	24	5	9	9
レベル2b	1	2	0	0	0
レベル3	2	0	2	1	0
レベル4	0	0	0	0	0
レベル5	0	0	0	0	0

第8 ご意見の概要

2024年度

分 類	主 な 内 容	対 応 内 容 な ど
苦 情 (11件)	・職員への不満 ・診療の順番について	・関係部署にご意見内容を伝えた。
要 望 (61件)	・デイケア、作業療法活動に関すること ・食事の要望について ・雑誌等の種類を増やしてほしい ・スマホ等の充電について ・デイケアの施設設備について ・病棟・外来の施設設備について ・病院の広報について ・費用・金銭管理等について ・意見箱について など	・関係部署にご意見内容を伝えた。 ・院内で調整し、改善を図った。
そ の 他 (74件)	・職員への感謝 ・個人の感想 ・食事に関すること（感謝・不満） ・療養環境について（感謝・不満） ・療養に関すること ・薬に関すること ・判読不能のもの など	・関係部署にご意見内容を伝えた。
合計 146件		

第9 資料(網走の精神保健・医療)

1 オホーツク総合振興局管内の人口と面積

人口：261,020人（住民基本台帳 R6.1.1）

（うち網走市32,846人、斜里町10,694人、清里町3,715人、小清水町4,415人、大空町6,626人 斜網地域計58,296人）

面積：10,690.36km²（国土地理院 R7.1.1）

2 精神科医療機関の状況

精神科を標ぼうしているオホーツク総合振興局管内の病院・診療所

	名 称	所在地	許 可 病 床 数					医療機能		
			総数	一般	療養	精神	感染	措置	応急	精神科 デイケア 等
病 院	(医) 玉越病院	北見市	110			110				○
	(医) 端野病院	北見市	130			130				○
	(社医) 道東の森総合病院	北見市	85	85						
	小林病院	北見市	300	256	44					
	北見赤十字病院	北見市	532	490		40	2	○		○
	美幌療育病院	美幌町	150	60	30	60				
	北海道立向陽ヶ丘病院	網走市	105			105		○	○	○
	(医) 遠軽学田病院	遠軽町	135			135				
	JA北海道厚生連遠軽厚生病院	遠軽町	160	158			2			
	広域紋別病院	紋別市	135			135				
診 療 所	あしの医院	北見市	-							
	(社医) 桂ヶ丘クリニック	網走市	-							

※1 道医務業務課ホームページ「道内医療機関の名簿について」より(令和6年10月1日現在)

3 精神保健福祉社会資源

(1) 精神保健協会

名 称	所 在 地	電 話
網走地方精神保健協会	〒093-8585 網走市北7条西3丁目 網走保健所内	0152-41-0698

(2) 地域活動支援センター（地域共同作業所）

地域活動支援センター ふれ愛	〒093-0035 網走市駒場南1丁目4番1号 網走市ふれあい活動センター内	0152-45-4688
地域活動支援センター ニボグリラ	〒093-0035 網走市駒場南1丁目4番1号 網走市ふれあい活動センター内	0152-44-5992
地域活動支援センター 海の貝	〒093-0016 網走市南6条西2丁目 網走市民会館内	0152-61-4355

(3) 精神障がい者地域生活支援・就労支援（北網圏域）

サポートネット北見	〒090-0084 北見市北9条東1丁目14番地	0157-31-3399
オホーツク障がい者 就 業・生活支援センター 「あおぞら」	〒090-0040 北見市大通西2丁目1番地 まちきた大通ビル 5階	0157-69-0088
オホーツク若者サポ ートステーション	〒090-0064 北見市美芳町5丁目2-13 エムリンクビル1F	0157-57-3136

(4) 基幹相談支援センター

斜網地域障がい基幹相談 支援センター めいと	〒093-0046 網走市新町1丁目7番3号 吉本ビル1F	0152-67-6120
---------------------------	-------------------------------	--------------

(5) 計画相談支援事業所

相談支援事業所 きずな	〒093-0046 網走市新町1丁目7番3号 吉本ビル1F	0152-45-0050
相談支援センター りらいふ	〒093-0014 網走市南4条西2丁目1番地 本間ビル1階	0152-44-7681
相談支援事業所 オホーツク	〒093-0042 網走市潮見185-19	0152-44-4880
網走市こども発達支援セ ンター ふわり	〒093-0061 網走市北11条東1丁目10-1	0152-44-1884
相談室 べる	〒093-0042 網走市潮見270番地	080-2871-3255
相談支援事業所 ちあふる	〒099-3213 大空町東藻琴340番地 1	0152-67-7152
相談支援事業所 ゆい	〒099-4117 斜里町青葉町41	0152-23-6556
相談室 ともに	〒099-4117 斜里町青葉町28番地8	0152-23-7090
斜里地域子ども通園セン ター	〒099-4113 斜里町本町43番地1	0152-23-6418
計画相談支援 はな斜里	〒099-4141 斜里町豊倉50番地	0152-26-7131

(6) 共同生活援助事業所（グループホーム）

※他障害も対象

共同生活住居みずなら※		〒099-4116 斜里町文光町26-12	0152-23-3783
サ ン ラ イ ズ ヨ ピ ト	サンライズヨピト	〒093-0045 網走市大曲25番地1	0152-67-5081
	はまなす寮※	〒093-0045 網走市大曲25番地1	0152-67-5081
	アスター※	〒099-2421 網走市字呼人393-2	0152-48-3553
	サルビア※	〒093-0003 網走市南3条東2丁目	0152-44-7328
	ハッピー荘※	〒099-2421 網走市字呼人721-1	0152-48-2660
	オリーブ※	〒093-0042 網走市潮見5丁目125-67	0152-43-8711
	アザレアⅠ※	〒099-2421 網走市字呼人721-2	0152-48-2555
	アザレアⅡ※	〒099-2421 網走市字呼人721-2	0152-48-3553
グループホーム海の貝		〒093-0083 網走市海岸町5の10	0152-67-8833
グループホーム海の貝 2014		〒093-0083 網走市海岸町5の10	0152-67-8833
グループホームひまわり		〒093-0043 網走市錦町120-20	0152-44-4875
ふれ愛ホーム		〒093-0084 網走市向陽ヶ丘2丁目14-1	0152-67-4462
グループホームプレジール		〒093-0083 網走市海岸町3の13	0152-67-7963
グループホームアンジュ		〒093-0074 網走市北4条西3丁目9-4	0152-67-7963
グループホーム天都の杜		〒093-0042 網走市潮見310-75	0152-67-7871
指定共同生活援助 東藻琴事業所 ちあふる		〒099-3213 大空町東藻琴340番地1	0152-67-7152
共同住居事業所 ブーケ		〒099-4122 斜里町峰浜110-11	0152-28-2026

(7) 精神保健福祉ボランティアの会

はとの会	〒099-4112 斜里町港町5-1	
コスモスクらぶ	〒099-4405 清里町羽衣町35番地 清里町社会福祉協議会内	0152-22-4840

(8) ボランティアセンター

網走市ボランティアセンター	〒093-0012 網走市南2条西3丁目 網走市市民活動センター内	0152-61-4822
---------------	--------------------------------------	--------------

※ 網走市以外の各町のボランティアセンターは各町社会福祉協議会に設置

(9) 社会福祉協議会

網走市社会福祉協議会	〒093-0061 網走市北11条東1丁目10番地	0152-43-2472
斜里町社会福祉協議会	〒099-4116 斜里町文光町52番地17	0152-23-4704
清里町社会福祉協議会	〒099-4405 清里町羽衣町35番地	0152-22-4840
小清水町社会福祉協議会	〒099-3612 小清水町字共和13番地3	0152-62-3988
大空町社会福祉協議会	〒099-2300 大空町女満別西4条4丁目1番6号	0152-75-6021

(10) 家族会

ニボグリラ家族会	〒093-0035 網走市駒場南1-4-1 ふれあい活動センター内	0152-44-5992
斜里あおぞら親の会	〒099-4117 斜里町青葉町40-2 総合保健福祉センターぽると21内	0152-22-2500

(11) 回復者クラブ

サークルエアポート	〒099-2323 大空町女満別西3条4丁目 大空町役場福祉課内	0152-74-2111
あおぞらの会	〒099-4113 斜里町本町6番地12 あおぞらの家	0152-23-6291
キララサークル	〒093-0073 網走市北3条西4丁目 市保健センター内	0152-43-8450

(12) 福祉の店

福祉の店 さんぽ	〒093-0202 網走市南4条西2丁目 ジオビル1F	0152-44-6128
----------	-----------------------------	--------------

(13) アルコール・薬物関連自助グループ等

北見断酒会	〒090-0053 北見市桂町3丁目165-16 森本様方	
GAオホーツク北見グループ	〒090-0069 北見市美山東2丁目73-164	

(14) 高次脳機能障がい者を支援する会

「つながり」高次脳機能障がい者を支援する会	〒090-0062 北見市美山町東2丁目68-9 道東の森総合病院医療生活相談室内	0157-69-0300
-----------------------	--	--------------

(15) 社会復帰学級

ババスクラブ	〒099-4405 清里町羽衣町35番地 清里町保健福祉課	0152-25-3850
小清水町社会復帰学級	〒099-3698 小清水町元町2丁目1番1号 小清水町役場内	0152-62-2311

2024年度

北海道立向陽ヶ丘病院年報

2025年(令和7年)8月発行

発行 北海道立向陽ヶ丘病院
編集 向陽ヶ丘病院広報委員会

〒093-0084

北海道網走市向陽ヶ丘1丁目5番1号

電話 0152-43-4138

FAX 0152-43-4365

